

霞ヶ浦北浦の水産

平成27年10月

茨城県

目 次

トピックス

霞ヶ浦北浦産フナ（ギンブナ、ゲンゴロウブナ）の出荷再開について

霞ヶ浦北浦産シラウオの出荷に関する取扱いの変更について

霞ヶ浦漁協によるワカサギ卵の試験出荷について

コイにはコイのプロバイオティクス！！～コイ養殖業への利用の可能性～

1. 霞ヶ浦北浦の概況	1
2. 漁業及び養殖生産	3
3. 水産資源の増殖及び環境保全対策	10
4. 資源管理型漁業の推進	12
5. 漁業制度	14
6. 水産物流通加工	16
7. 漁船と漁港・船溜り	24
8. 水産業団体及び組合員	25

9. 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要	28
10. 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体	29
11. 資料（霞ヶ浦北浦海区の漁場図，漁業生産量の推移）	33

霞ヶ浦北浦産フナ(ギンブナ・ゲンゴロウブナ)の出荷再開について

福島第一原子力発電所事故の影響によるギンブナへの出荷制限とゲンゴロウブナ（通称：ヘラブナ）への出荷自粛要請が，平成27年3月24日付けで解除となり，フナ漁が3年振りに再開されました。

これは，霞ヶ浦北浦水域における初の解除であり，出荷制限や風評被害などに苦しんできた，地元の漁業・水産加工関係者にとって，久々の朗報と歓迎されました。

霞ヶ浦北浦におけるフナ類の漁獲量は，昭和40年代から50年代中頃には1,000トンを超えていましたが，近年は食の多様化などの影響から50トン程度となりました。しかし，晩秋から冬季に漁獲されるフナは「寒ブナ」と呼ばれ，鮮魚をはじめ，煮ブナや甘露煮などの加工品は，地元ではこの季節に欠かせない食材として定着しています。

また，春先に産卵期を控え，お腹が大きく膨らんだフナは「子持ちブナ」と呼ばれ，期間限定の食材として重宝されています。

今回のフナ漁再開に伴い，地元の直売所には，甘露煮などの加工品が3年ぶりに並び，フナの販売再開を待望していたお客さんで売れ行きは好調だったようです。



再開直後のフナ漁の風景（北浦にて）

霞ヶ浦北浦産シラウオの出荷に関する取り扱いの変更について

霞ヶ浦北浦地区の漁業協同組合及び水産加工業協同組合の6団体が、平成26年4月9日及び5月15日に「霞ヶ浦北浦産シラウオの出荷対策に関する協議会」を開催し、シラウオの信頼性の確保と品質向上の対策について協議を行いました。

その結果、平成26年5月28日に「霞ヶ浦北浦産シラウオの生産・出荷管理に関する協定」が締結され、シラウオの生産・出荷にあたっては、平成12年度から自主的に実施してきた加熱表示の義務付けは行わないこととし、当協定に基づき、管理を徹底していくこととなりました。

霞ヶ浦北浦産シラウオの生産・出荷管理に関する協定

霞ヶ浦北浦産シラウオの信頼性の確保と品質の向上を図るため、漁業協同組合及び水産加工業協同組合（以下、「協定組合」という。）は、シラウオの生産及び出荷管理に関する協定を締結する。

1 協定組合の責務等

協定組合は、本協定に定められた内容を所属組合員に周知・指導する責務を負うとともに、さまざまな機会を捉えて順守徹底されるよう努める。

また、協定組合は、所属組合員が本協定に反する行為を行ったと認められる場合には、原因の追及と再発防止策を講じるとともに、他の協定組合にその内容を報告する。

2 生産者及び出荷者の定義

本協定において、生産者及び出荷者とは協定組合に所属する組合員とする。

3 生産者及び出荷者の責務

生産者及び出荷者は、本協定を順守するとともに、霞ヶ浦北浦シラウオ産地の信頼確保に努力しなければならない。

4 生産・出荷における管理

(1) 生産過程における管理

① 生産者は、霞ヶ浦北浦産シラウオの漁期は、夏（7月）から翌春（4月）までであることから、季節（気温・水温）や成長にともなう漁獲サイズの変化などを考慮し、出荷用途（仕向先）等に応じた適切な漁獲管理を行うとともに、漁獲から水揚げに至るまでの鮮度保持・品質管理の徹底を実施する。

② 生産者は、異物混入の軽減やそれに伴う選別時間の短縮を図るため、天候や湖の状況には注意を払い、操業にあたっては漁場選定を適切に行う。

③ 協定組合は、関係行政機関の協力のもと、原則として、寄生虫検査を、毎年、漁期前と漁期中の2回以上、主要漁場において行い、感染状況の監視・把握に努める。

④ 協定組合は、寄生虫の感染状況に変化が認められた場合には、関係行政機関と協議のうえ、加熱用出荷を含む適切な措置を講じることとする。

(2) 出荷過程における管理

- ① 出荷者は、本協定に定められた内容に従って生産されたシラウオであることを確認したうえで、出荷する。
- ② 出荷者は、「産地」と「淡水産シラウオ」であることが出荷先に伝達されるようにするため、生鮮出荷に際しての産地表示は、「霞ヶ浦産」「北浦産」または「霞ヶ浦北浦産」のいずれかを適切に選択しなければならない。

5 資源保護

協定組合、生産者及び出荷者は、関係行政機関と連携し、年間を通じた資源の有効活用を図るため、一時的な漁獲集中の回避や、産卵親魚、仔稚魚の保護などに関する取り組みについて話し合い、必要に応じた適切な措置を講じる。

6 疑義

本協定に定めのない事項について疑義が生じた場合、協定組合の合議をもって対応する。

また、本協定に掲げられた内容について改正が必要となった場合も同様とする。

この協定を証するため、本書6通を作成し、各通押印のうえ、各一通を保有する。

平成26年5月28日

霞ヶ浦漁業協同組合 代表理事組合長 薄井 征記

麻生漁業協同組合 代表理事組合長 越川 留吉

きたうら広域漁業協同組合代表理事組合長 海老沢 武美

潮来漁業協同組合 代表理事組合長 小沼 政美

常陸川漁業協同組合 代表理事組合長 保立 達夫

霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合 代表理事組合長 戸田 廣

霞ヶ浦漁協によるワカサギ卵の試験出荷について

霞ヶ浦漁協では、張網漁業の振興とワカサギ資源の有効活用を目的に、平成25年度から、ワカサギ利用拡大実証事業として、張網で採捕したワカサギの共同出荷が試験的に実施されています。

平成26年度については、鮮魚販売の他、成熟した親魚を用いた人工採卵が行われ、県内の内水面漁協向けに放流用ワカサギ卵が試験的に出荷されました。

経緯としては、内水面の各漁協では、これまで、ワカサギの増殖対策として、長野県の諏訪湖漁協等からワカサギ卵を購入し、移植放流していましたが、数量の確保や納入時期の遅れ等が問題となっており、この対策として、内水面漁連を通じて霞ヶ浦漁協にワカサギ卵を購入したいとの申し入れがあり、霞ヶ浦漁協で試験的に対応することとなりました。

方法としては、まず通常の人工採卵を実施し、受精卵をシュロ枠に付着させ、シュロ枠を乾燥させないようビニール袋に入れ、段ボールで梱包し、軽トラックで直送、またはクール便（翌日到着）で出荷するというものです。



26年度は、ワカサギの成熟が遅く、成熟メスが思うように確保できず、計画通り進みませんでしたでしたが、実績としては、内水面の6漁協に対し、合計2,300万粒を販売することができました。（下表参照）

内水面の各漁協では、県外産の卵の移入の場合、県内産のふ化時期との間にずれが生じることもあり、できれば来年度以降も霞ヶ浦漁協から卵を購入したい意向だそうです。

表 霞ヶ浦漁協によるワカサギ卵販売実績（平成26年度）

販売先	販売数量	出荷日	出荷方法
大北川漁協	500万粒	平成27年2月24日	クール便
那珂川第一漁協	300万粒	平成27年3月5日	直送
大湫沼漁協	1,000万粒	平成27年3月3日	直送
桜川漁協	200万粒	平成27年2月17日	直送
新利根漁協	100万粒	平成27年2月16日	直送
常陸川漁協	200万粒	平成27年2月20日	直送

コイにはコイのプロバイオティクス!! ～コイ養殖業への利用の可能性～

網いけす養殖の盛んな霞ヶ浦北浦において、全国屈指の生産量を誇るコイは最も重要な魚種です。一時、コイヘルペスウイルス病の影響によりコイ養殖業は休止を余儀なくされていましたが、耐病性種苗の作出が可能となったこと等から、平成 21 年 4 月に再開されました。しかし、その生産量は本病発生以前の水準にまで回復しておらず、また、本病以外の魚病による経済的損失や飼料原材料高騰等の影響から、より効率的な養殖技術の開発が求められています。

これら課題に対し、茨城県水産試験場内水面支場ではプロバイオティクス（定義：消化管内の環境を改善し、宿主に有益な作用をもたらす有用な微生物とそれらの増殖促進物質）に着目し、霞ヶ浦産コイから分離・同定された有用なプロバイオティクス乳酸菌を用いた新規コイ養殖技術開発を試みました（図 1）。

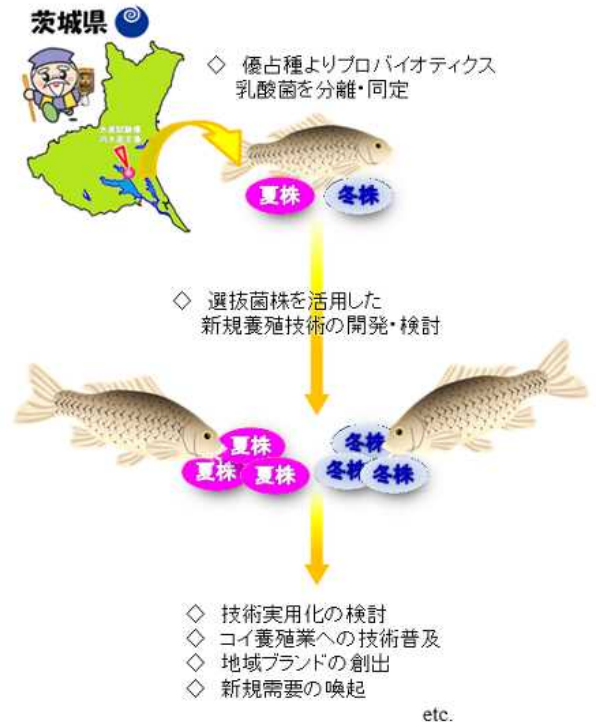


図 1 プロバイオティクス乳酸菌を用いた

試験研究フロー図

○ コイ用プロバイオティクス乳酸菌の開発

筑波大学との共同研究により、コイ消化管内の優占乳酸菌種から分離・同定された複数の有用株について、水槽規模、養殖現場規模での投与試験を実施しました。

この結果、選抜菌株の投与により、宿主であるコイの免疫システムが賦活化していることが確認された他、収容後 8 ヶ月目時点のモニタリングの結果、対照区画に比べ菌株投与区画では、最大 120.3%の良い成長が確認され（図 2）、また、生残率も最大 28.4%向上していました。

これら有用な結果が得られたことから、本技術の更なる効率化や技術普及を目指し、①選抜菌株の飼料への適切な混合手法、②養殖業者による試験飼育、③選抜菌株投与により飼育したコイの品質評価等を進め、コイ養殖業への利用の可能性を検討していきます。

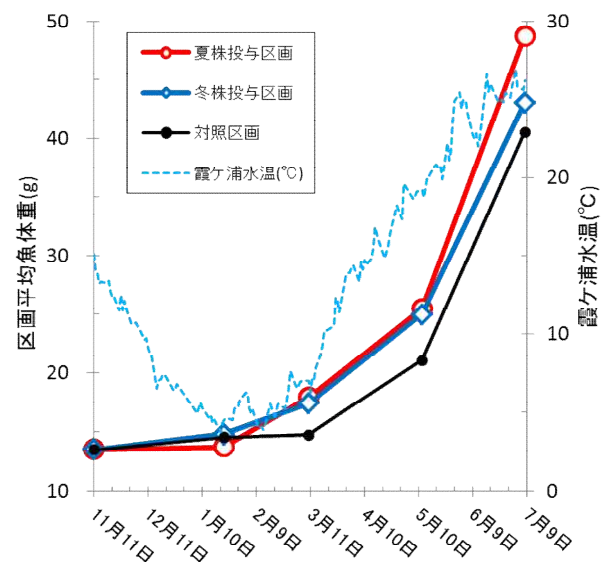


図 2 網いけすを用いた投与試験結果

～区画平均魚体重の推移～

1 霞ヶ浦北浦の概況

霞ヶ浦北浦はワカサギ、シラウオ、ハゼ、エビ等の水産資源に恵まれ、古くから多種多様な漁業が盛んに行われている湖である。漁業生産は一時期に比べ減少しているものの、平成24年は646トンで、全国湖沼漁獲量の4.3%を占めている。全国の湖沼では主な漁獲対象種がシジミであるのに対して、本湖はエビ類及び魚類が主体となっている（図1-1、図1-2）。

その豊かな資源を背景に、ワカサギ、シラウオ、ハゼ、エビ等を使った佃煮や煮干しなど地域性豊かな水産加工業も発展してきており、現在に至るまで地域の特産物として県内はもとより全国各地の消費者から広く親しまれている。近年においては、地元における漁獲量の減少傾向等もあり、県外や外国の水産物も加工原料として活用されているが、依然として霞ヶ浦北浦産の漁獲物は加工原料として重要な位置を占めている。

表1 霞ヶ浦北浦の諸元

成因	海跡湖
湖沼類型	富栄養湖
水面標高	Y.P. +1.1m（夏期）、+1.3m（冬期） ※Y.P. = T.P. -0.840m
全流域面積	2156.7 k m ² （茨城県全体の約35%）
湖面積	220 k m ² （霞ヶ浦172 k m ² 北浦36 k m ² その他12 k m ² ）
湖岸線距離	249.8 k m（霞ヶ浦120.5 k m 北浦74.5 k m その他54.8 k m）
水深	平均：4m、最大：7m
貯水容量	約8.5億立米（Y.P. +1.0m）
沿岸市町村	13市町村（茨城県10市1町1村、千葉県1市）

（国土交通省霞ヶ浦河川事務所資料）

一般漁業においては、昭和40年代に入り湖周辺の都市化や、治水、利水のための護岸整備等を内容とする霞ヶ浦開発事業（昭和43年～平成7年度）が進められるなど、湖及び周辺地域の環境は大きく変化し、富栄養化の進行や湖岸の水生植物帯が減少するなど漁場環境は著しく悪化した。また、アメリカナマズなどの外来魚やニゴイ等が勢力を増しており、漁業環境の悪化や、外来魚による食害等の影響もあり、在来有用種は減少し、生産量は近年は昭和53年ピーク時の約10分の1、平成24年は約27分の1と非常に低迷しており、漁業及び水産加工業は厳しい状況におかれている。

コイの網いけす養殖業は、昭和39年に導入され、豊かな生産性を背景に昭和50年には、全国一の生産量となった反面、生産量の増大による魚価安、消費の伸び悩み等の問題も生じたため、学校給食での利用促進等、地元消費拡大への取組が進められてきた。しかし、平成15年10月に、養殖コイ及び天然コイにコイヘルペスウイルス（以下、「KHV」という。）病が発生したことから、約1,000トンの養殖コイがへい死し、さらに、KHV病が持続的養殖生産確保法の特定疾病に指定されていたため、まん延防止対策として網いけすで飼育されていた全ての養殖コイを処分することとなった。その後、コイ養殖は休止状態となったが、平成21年4月にKHV病に強いコイの作出技術やまん延させない出荷流通方法について解決が図られたため、養殖が再開された。

一方、霞ヶ浦北浦は首都圏に近い手軽なレジャースポットとして、ブラックバスやコイ、フナ、ワカサギを対象とした釣りを始め、ヨット、ウインドサーフィン、水上スキー等の湖上レジャーが盛んである。

このような状況の中、県においては、水産業の維持、発展を図るため、魚類の産卵育成の

場となる水生植物帯の造成，資源管理等による資源維持・増大対策を始め，消費拡大対策，KHV病対策，湖面利用調整等の遊漁対策など，各種の施策を講じている。

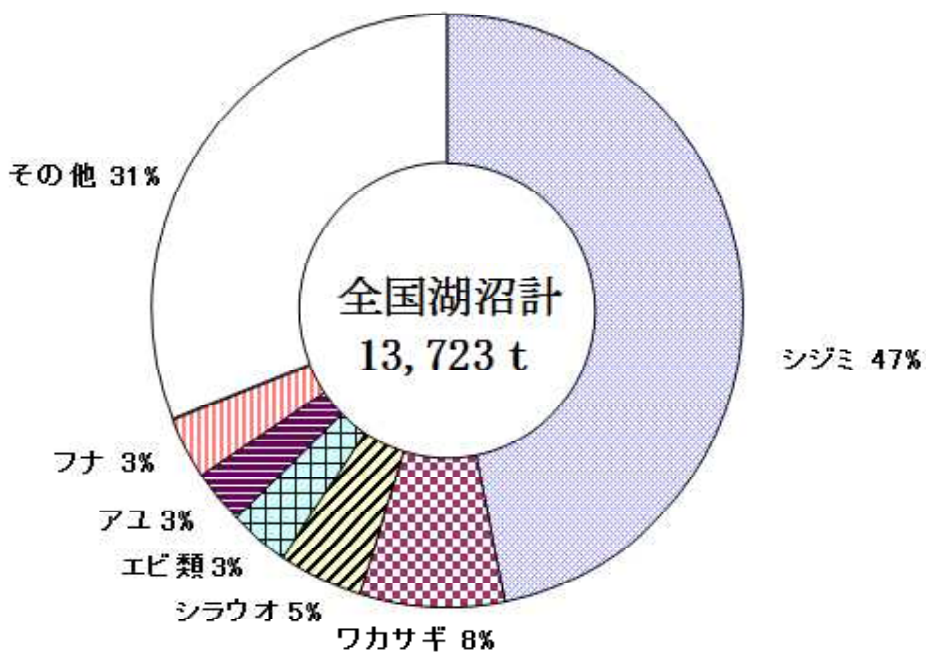


図1-1 平成25年漁獲量の魚種別割合（全国湖沼計）

（茨城農林水産統計年報）

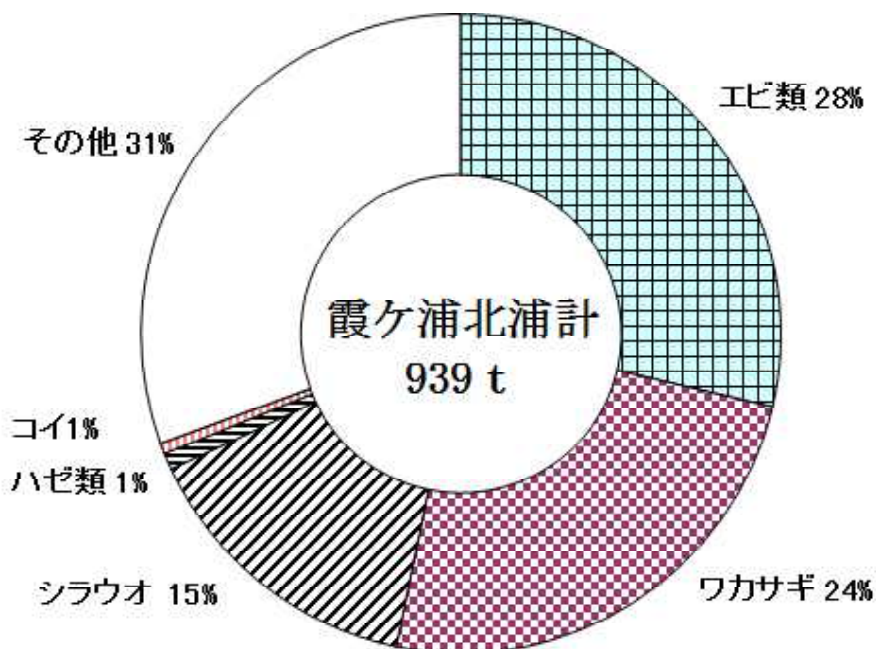


図1-2 平成25年漁獲量の魚種別割合（霞ヶ浦北浦計）

（茨城農林水産統計年報）

2 漁業及び養殖生産

(1) 漁業の概況

霞ヶ浦北浦は、かつて広大な内海であり、古くから漁業が営まれていた。江戸時代の利根川の東遷までは海産魚も多く生息し、「クジラ以外は何でもいる」と言われていた。利根川東遷以降、上流からの土砂が利根川との合流部に堆積し淡水化が進んだものの、昭和49年に常陸川水門（逆水門）が完全閉鎖されるまでは海水が遡上していたため、海水魚、汽水魚も多く生息し、また下流域（霞ヶ浦は古渡・麻生以南、北浦は白浜以南）ではヤマトシジミも漁獲されていた。

漁業生産量は逆水門が完全閉鎖した4年後の昭和53年にはピーク（17,487トン）に達したが、富栄養化の進行、水生植物帯の極端な減少、外来魚の繁殖などにより漁場環境が悪化し、漁業生産量は減少している。

現在は動力漁船（総トン数2.5トン以下）により網を曳くわかさぎ・しらうおひき網漁業（通称：トロール）、いさぎ・ごろひき網漁業（通称：横ひき）と、漁具を固定する張網漁業（小型定置網）、さし網漁業（掛網、しらうお建網）等を中心とした操業が行われている。かつてはワカサギ、シラウオは風力を利用した帆びき網漁業により漁獲されていたが、昭和42年以降、動力を用いたより効率の良いトロールに転換し、現在に至っている。

① 魚種別生産量

霞ヶ浦北浦の魚種別生産量の推移を図2に、各年代毎の魚種別生産量、生産額の割合を図3に、近年の魚種別生産量を表2に示した。

なお、各年代の漁業生産の特徴は次のとおりである。

◆昭和41年以前【区分：富栄養化以前、代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）】

- ・ワカサギ及びシラウオが主な漁獲対象で、主に帆びき網漁で漁獲され、ワカサギが総生産量の24%を占める主要な魚種であった。
- ・逆水門は昭和39年に運用が開始されたが、完全に閉鎖しておらず、まだ海水が遡上していたため、霞ヶ浦北浦の下流域ではシジミが漁獲され、総生産量の18%を占めていた。
- ・シラスウナギの遡上が可能であったためウナギの生産量も多く、全生産額の10%を占め、漁業者の重要な収入源となっていた。
- ・イサザアミ（当時はコマセと呼ばれていた）の生産量も多く、総生産量の10%を占めた。
- ・その他では、淡貝（カラスガイ等）、タナゴ等の生産量が多く、淡貝は食用のほかボタン材料としても利用されていた。

◆昭和42年～昭和48年【区分：富栄養化の進行、生産量の増大期、代表年：昭和48年】

- ・富栄養化が進行し、エビ、ハゼ類の生産量が増加したことにより、全体の生産量は10,000トンを超えるようになった。
- ・一方、ワカサギ、シラウオの生産量及び総生産量に占める割合は減少し、ワカサギ、シラウオを中心とした湖からエビ、ハゼ類を中心とする湖へと変化した。
- ・逆水門は完成したが完全に閉鎖はされておらず、シジミは1,000トンを超える漁獲があった。

◆昭和49年～平成9年【区分:生産量の極大期から減少期, 代表年:昭和53年(ピーク)】

- ・逆水門の完全閉鎖から4年後の昭和53年に総生産量はピークに達し, 17,487トン記録した。
- ・ハゼ類及びエビの生産量は更に伸び, イサザアミを加えた3種が総生産量の64%を占めた。この3種を漁獲対象とするいさざ・ごろひき網漁業の生産量が大きく伸びた。
- ・昭和53年以降, ハゼ類及びエビが減少に転じたことにより, 生産量は漸減した。
- ・かつて主要な漁獲対象であったシジミは昭和53年までは, 1,000トン以上の漁獲があったが, その後急減し平成2年には漁獲が0トンとなった。
- ・昭和53年以降, 漁獲量は減少に転じたが, エビ, ハゼ類中心の漁獲があり, 平成9年まで, 年間総生産量は常に4,000トンを超えていた。

◆平成10年～平成22年【区分:生産量の低迷期(3,000トン以下),
代表年:平成15年(過去最低の生産量)】

- ・平成10年以降はエビ, ハゼ類の減少に歯止めがかからず, 総生産量は3,000トンを下回り, 低迷した。
- ・ワカサギ資源は低水準(平成12年 霞ヶ浦19トン)になり, エビ, ハゼ類の減少も顕著であった。
- ・近年は生産量の減少もさることながら, 販売の対象とならない魚(ボラ, ニゴイ及びアメリカナマズなど)の入網割合が高いことが漁業の衰退の一因となった。平成20年以降は, 引き続き低調ではあるものの若干生産量が回復した。
- ・生産量減少の原因は, ①生息環境の悪化(生産容量の低下, 植物プランクトン相の変化)②有用種の繁殖育成場である水生植物帯の減少, ③魚食性の外来魚の繁殖などの複合的な要因によるものと考えられた。

◆平成23年～平成25年 【区分:東日本大震災による生産量低迷】

- ・前述の生産量の低迷が続いている中, 東日本大震災による被災と, 福島第一原子力発電所事故による風評被害や出荷規制のため, 生産量が著しく減少した。平成24年の総生産量は, 前年(1,874トン)を大幅に下回る646トンであった。平成25年は939トンで, 前年よりも約300トン弱増加したが, 1,000トンを下回った。

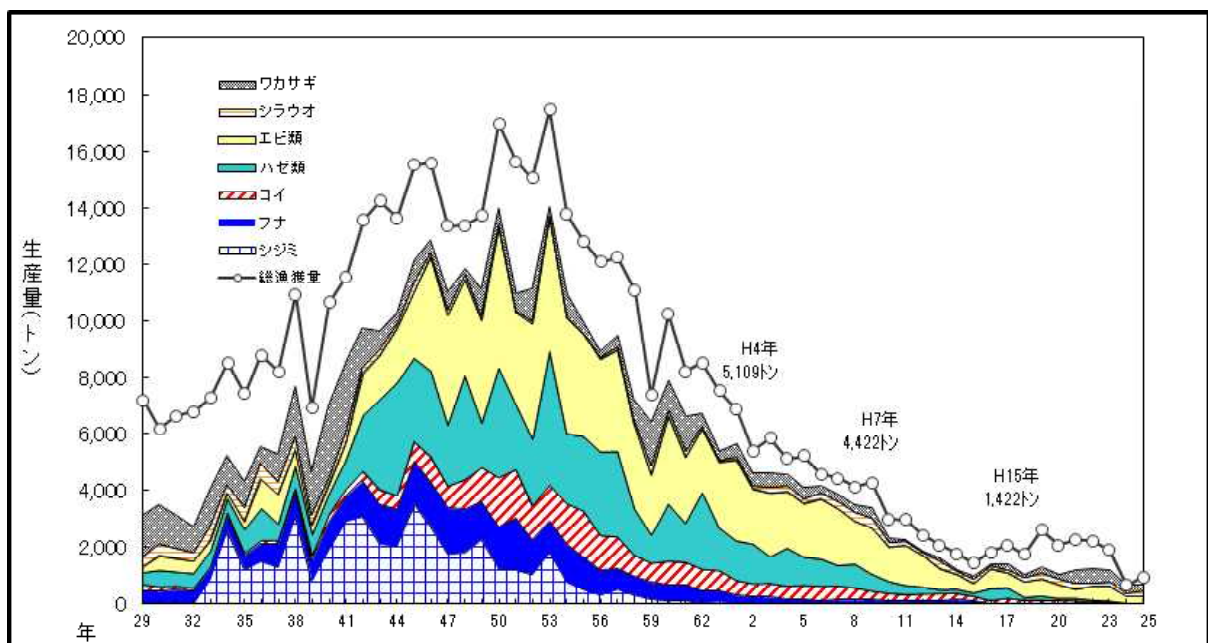


図2 霞ヶ浦北浦における魚種別生産量

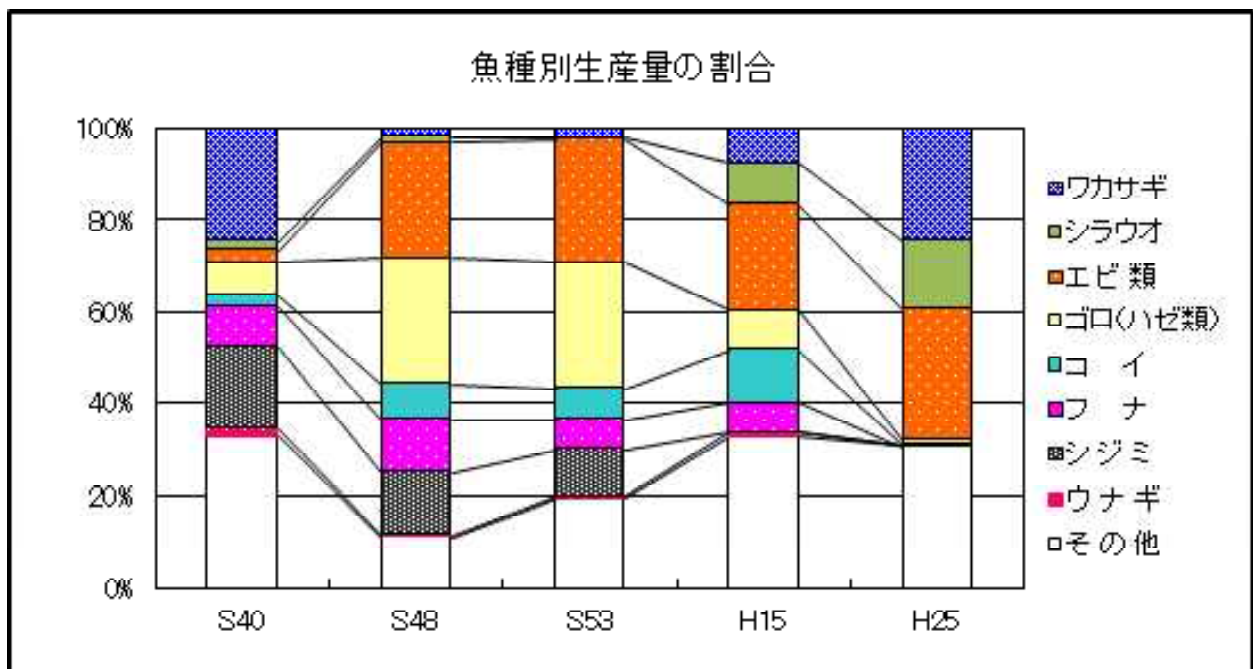


図3 各年代の魚種別生産量の割合

表2 近年の魚種別生産量(トン)

魚種	H21	H22	H23	H24	H25
霞					
ワカサギ	377	499	383	192	190
シラウオ	160	78	115	98	119
コイ	27	18	15	0	5
フナ	18	22	17	1	0
ケ					
ウナギ	5	12	7	0	0
ハゼ類(ゴロ)	85	49	27	2	3
浦					
エビ類	307	492	511	272	264
その他	955	724	477	8	246
霞ヶ浦計	1,934	1,894	1,552	573	827
北					
ワカサギ	79	21	27	35	41
シラウオ	19	5	9	18	20
コイ	20	11	11	0	0
フナ	22	13	11	2	0
ウナギ	2	2	2	0	0
ハゼ類(ゴロ)	9	6	5	7	5
浦					
エビ類	15	5	4	4	5
その他	138	261	253	7	41
北浦計	304	324	322	73	112
合					
ワカサギ	456	520	410	227	231
シラウオ	179	83	124	116	139
コイ	47	29	26	0	5
フナ	40	35	28	3	0
ウナギ	7	14	9	0	0
ハゼ類(ゴロ)	94	55	32	9	8
浦					
エビ類	322	497	515	276	269
その他	1,093	985	730	15	287
合計	2,238	2,218	1,874	646	939

(茨城農林水産統計年報)

② 漁業種類別生産量

霞ヶ浦北浦の漁業種類別生産量の推移を図4に、各年代毎の漁業種類別生産量の割合を図5に、近年の漁業種類別生産量を表3に示した。また、各年代の漁業生産の特徴は次のとおりである。

◆昭和41年まで【区分：富栄養化以前，代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）】

- ・ワカサギ及びシラウオは、風力を用いた帆びき網によって漁獲されていた。
- ・採貝（シジミ，淡貝）が総生産量の34%を占め最も生産の多い漁業種類であった。
- ・その他の漁法に含まれる，大徳網などの伝統漁業，笹浸や延縄も盛んであった。

◆昭和42年～昭和48年【区分：富栄養化の進行，生産量の増大期，代表年：昭和48年】

- ・富栄養化の進行に伴い，ハゼ類，エビが増加し，張網による生産量が急増した。張網は昭和42年に前年比2倍の生産をあげている。
- ・逆に，淡水化の進行により採貝の生産量は減少し，昭和48年は10年前の40%である。
- ・帆びき網から，より効率的な底びき網である（天候に左右されない，1人で操業可能），わかさぎ・しらうおひき網に転換した。わかさぎ・しらうおひき網は現在も主要な漁法となっている。

◆昭和49年～平成9年【区分：生産量の極大期から減少期，代表年：昭和53年（ピーク）】

- ・逆水門の閉鎖以降は，増加した張網に加え，ハゼ類，エビ，イサザアミを対象とする底びき網（いさぎ・ごろひき網）の生産量が増加した。
- ・ワカサギはわかさぎ・しらうおひき網により効率良く漁獲されるようになったものの，乱獲状態で資源は減り，帆びき網時代の生産量を上回ることにはなかった。
- ・シジミや淡貝の資源の減少に伴い採貝漁業は更に縮小し，平成4年以後漁獲はなくなった。
- ・その他の漁業の生産量が極めて少なく，主要4漁法（わかさぎ・しらうおひき網，いさぎ・ごろひき網，掛網，張網）の漁獲が90%を超えるようになり，漁法の多様化が薄れてきた。

◆平成10年～平成22年【区分：生産量の低迷期（3,000トン以下），代表年：平成15年（過去最低の生産量）】

- ・総生産量が減っているが，底びき網（わかさぎ・しらうおひき網，いさぎ・ごろひき網）が総生産量の概ね60%以上を占めている。また，湖全体の生産量が減少しているため，湖岸域での張網，笹浸による生産量が減少している。

◆平成23～平成25年【区分：東日本大震災による生産量の激減と漁法の偏り】

- ・東日本大震災による被災と，福島第一原子力発電所事故による風評被害や出荷規制のため生産量が大きく減少し，平成24年の総生産量は646トン，平成25年は939トンで，1,000トンを下回った。また漁法が著しく偏り，9割以上が底びき網漁になった。

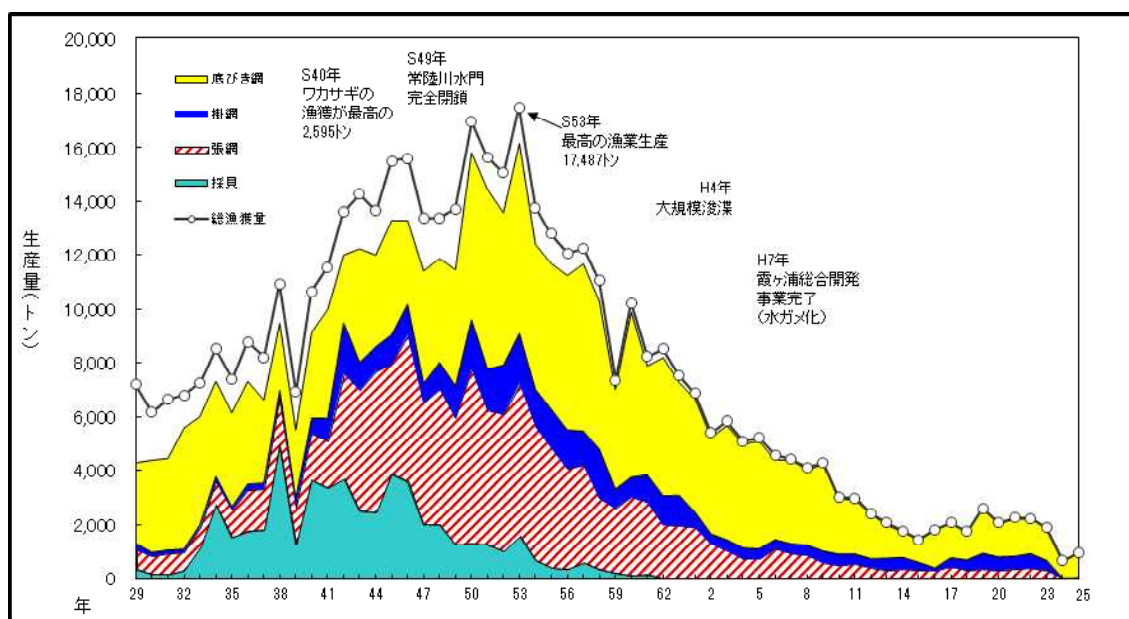


図4 霞ヶ浦北浦における漁業種類別生産量

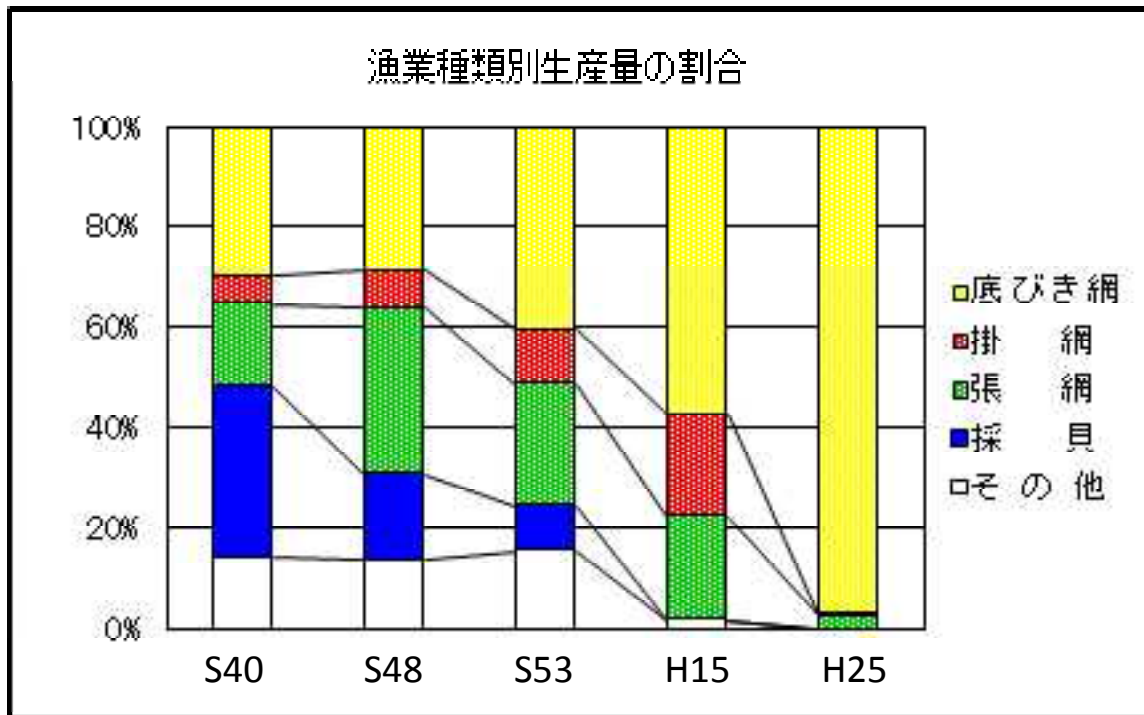


図5 各年代の漁業種類別生産量の割合

表3 近年の漁業種類別生産量(トン)

漁法		H21	H22	H23	H24	H25
霞ヶ浦	底びき網	1,286	1,256	1,160	568	805
	掛網	366	306	120	1	1
	張網	259	312	265	3	22
	その他	23	20	7	1	0
	合計	1,934	1,894	1,552	573	827
北浦	底びき網	107	37	50	63	110
	掛網	96	241	236	7	1
	張網	88	43	34	2	1
	その他	13	3	22	0	0
	合計	304	324	322	73	112
合計	底びき網	1,393	1,293	1,210	631	915
	掛網	462	547	356	8	2
	張網	347	355	299	5	23
	その他	36	23	9	1	0
	合計	2,238	2,218	1,874	646	940

(茨城農林水産統計年報)

(2) 養殖業の概況

本地域では、小割式養殖業（網いけす養殖）、淡水真珠養殖業（イケチョウガイ）及びコイ等の種苗生産を主目的とする池中養殖業が行われている。

① 網いけす養殖業

i) 概要

第1種区画漁業権（小割式養殖業）に基づく網いけす養殖業は、つくり育てる漁業の一環として昭和39年に導入され、漁場の高い生産性と養殖技術の発展により急速に生産量を伸ばした。

コイの生産量は、昭和50年には先進県である長野県を抜いて全国一となり、昭和57年には8,641トンと生産のピークを迎えた。その後、需要の低迷により徐々に生産量が減少したものの、平成14年までは生産量全国一を維持し続けた。（図6）その間、コイの消費拡大のための施策や、霞ヶ浦の富栄養化を防止しながらの養殖に取り組んだ。具体的には、汚濁負荷を軽減しながら品質の良いコイの生産と経営の安定化を重要課題とし、生産・流通・経営対策の検討、飼料改善や自主減面、魚種転換による養殖負荷軽減及び生産抑制対策を進めた。さらに、茨城県水産試験場で開発した全メスコイの実用化等による品質向上、水産用医薬品の適正使用や生産管理記録の導入などによる食の安全安心の確保、コイの竜田揚げの学校給食への提供やすり身を利用した加工販売などにも取り組んだ。

しかし、平成15年10月にKHV病が発生したことから、湖内飼育されていたコイは持続的養殖生産確保法に基づき、KHV病まん延防止のため、平成16年3月末までに2,467トンが処分され、また、養殖業者はコイ養殖を休止した。（図6）

平成21年4月には、KHV病に強いコイの作出技術やまん延させない安全な流通方法が確立されたことから、県は自粛要請を解除し、約5年ぶりにコイ養殖が再開された。コイ養殖再開に際して、コイ養殖業者が国の制度である「沿岸漁業者経営改善促進グループ」として県の認定を受けた「コイ種苗生産グループ」を結成し、KHV病が存在する環境下でもKHV病を発症しない強いコイ種苗を生産する技術（以下、昇温処理）を応用した種苗生産施設（以下、昇温処理施設）を整備した。昇温処理施設は、養殖業者からの整備負担金と全国漁業協同組合連合会や県、霞ヶ浦漁業振興基金協会からの補助金をもとに、平成22年3月に行方市手賀地内に完成した。昇温処理にあたっては、「コイ種苗生産グループ」が業務執行の意志決定をし、昇温処理を行っている。1回の昇温処理には約1ヶ月の期間を要することから、より効果的・効率的に実施されるよう毎年処理方法の見直しを行っている。

コイ養殖は再開されたものの、再開時の取り決めによって、霞ヶ浦・北浦流域外への活魚移動は禁止されたため、他県への移動は鮮魚又は加工品に限られていた。そして、平成22年には、国の調査により全国の天然水域においてもKHVが浸潤・定着していることが明らかとなった。また、KHVの既発生水域では最初の発生時こそ大量へい死が起こるものの、生き残ったコイは抗体を有しており、それ以降は大量へい死が確認されなかった。

このような状況のなか、平成23年6月及び12月に行われた『水産疾病に関する防疫専門家会議』において、「KHV病既発生水域間についての食用コイの活魚輸送を認める。」ことが了承され、既発生水域間のコイの活魚移動を認める方向に方針が転換された。しかし、一部の地方自治体から「防疫の実効性」に対して疑問が出されたため、議論を継続することとなった。

その後、国は平成25年3月にKHV病の既発生水域間の活魚移動を可能とする「KHV病防疫指

針(案)」(以下、防疫の指針)を作成し、パブリックコメントを行った。そして、防疫の指針は8月1日から適用することとなった。防疫の指針適用までの間に、各県は県KHV病防疫の指針の作成及び県KHV病対策協議会の設置等を進めること、養殖業者は活魚移動を予定する移動受け入れ先の報告を求めることとされた。茨城県では8月1日までに対応が完了したが、移動先等の照会に時間を要し、実際の活魚移動は8月28日以降となった。

霞ヶ浦北浦では、養殖業者の一部で小規模ながらアメリカナマズやフナの生産が行われており、平成25年は171トンの収穫量となっている(表4)。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所事故は霞ヶ浦北浦の水産物の販売・出荷にも大きな影響を及ぼした。このため、霞ヶ浦北浦の養殖業者で組織する「網いけす養殖者会議」では、養殖対象魚種について定期的に放射性物質の検査を実施し、放射性物質不検出もしくは基準値を大幅に下回っていることを確認している。また、養殖アメリカナマズについては、放射性物質検査に加えて、飼育ロット毎の管理を行うことを申し合わせている。

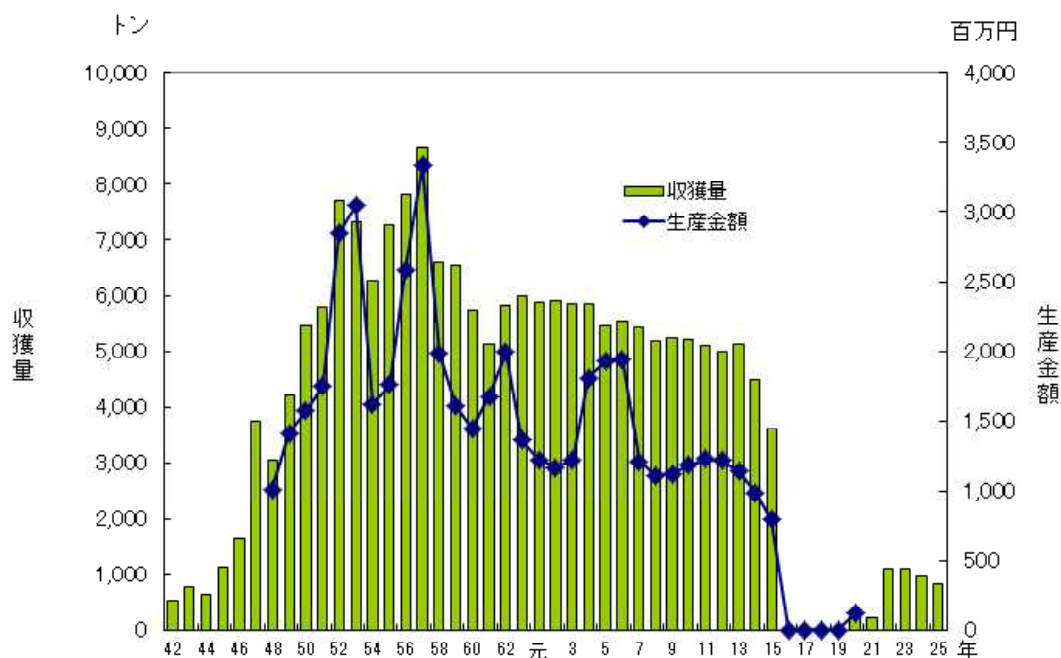


図6 霞ヶ浦北浦における養殖コイの収穫量と生産金額の推移

※生産金額：H21年度から調査対象としていない。

(茨城農林水産統計年報)

表4 近年の養殖コイ等の収穫量

項目		H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	
収穫量 (トン)	コイ	霞ヶ浦	2 1 2	1, 1 0 5	1, 0 9 0	9 6 5	8 2 1
		北 浦	1	1	x	x	x
		計	2 1 3	1, 1 0 6	x	x	x
	その他	霞ヶ浦	1 3 3	1 2 9	1 1 2	2 7 5	1 7 1
		北 浦	0	0	0	0	0
		計	1 3 3	1 2 9	1 1 2	2 7 5	1 7 1

(茨城農林水産統計年報)

3 水産資源の増殖及び環境保全対策

県では、沿岸地区の重要な地場産業である漁業及び水産加工業の振興を図るため、水産資源の増殖及び漁場環境保全対策を実施している。

また、後継者育成と水産業の広報を目的に少年水産講座を開催してきたが、近年では小学校の「総合的な学習」として、霞ヶ浦北浦の生態系や水産業を教材とするケースが増えており、学校や市町村、漁協と連携した水産講座が一年を通じて実施されるようになっている。

(1) 水産資源の増殖

霞ヶ浦北浦では、古くから諏訪湖産ワカサギ卵の移植やウナギ種苗の放流などの増殖事業が行われている。県では、水産動植物の採捕を禁じる保護水面（4ヶ所）及び禁止区域（9ヶ所）を設定し、水産資源の増殖に努めている（漁場概要図（巻末）を参照）。

霞ヶ浦北浦の水産業のシンボルであり、資源回復が強く求められているワカサギについては、湖内産ワカサギの人工ふ化放流が霞ヶ浦漁協、麻生漁協及びきたうら広域漁協によって行われている（表5）。

表5 霞ヶ浦北浦における過去5年の水産資源増殖事業

魚種		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
湖内産 わかさぎ卵 (百万粒)	霞ヶ浦	875	799	396	297	222
	北浦	233	226	213	191	123
	計	1,108	1,025	609	488	345
ウナギ (kg)	霞ヶ浦	1,185	956	1,002	0	178
	北浦	244	200	110	110	294
	計	1,429	1,156	1,112	110	472

※ H20年度以降、移植ワカサギ卵は無し。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

(2) 漁場環境保全対策

水質汚濁やヨシなど水生植物の減少に対し、県では魚類やエビの繁殖育成の場となる水生植物帯の造成や保全などの事業を実施している。（表6）

表6 環境保全対策関連事業

事業名	事業主体	事業内容	実績等
漁場環境保全創造事業	茨城県	水産動植物の繁殖保護の場であり、水質浄化にも寄与する水生植物帯の造成	水生植物帯の造成地 H22：小美玉市高崎 H23：鹿嶋市奈良毛 H24：行方市八木蒔 H25：行方市天掛 H26：行方市三和
環境・生態系保全活動支援事業	地域協議会活動組織	水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしているヨシ帯の保全活動の支援	保全活動実施実績 H22：霞ヶ浦3.34ha、北浦2.87ha H23：霞ヶ浦3.34ha、北浦3.07ha H24：霞ヶ浦3.86ha、北浦3.59ha H25：霞ヶ浦4.61ha、北浦3.62ha H26：霞ヶ浦4.61ha、北浦3.62ha

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

(3) 少年少女水産講座

県では、地元小学生に地域産業である漁業や水産加工業を知ってもらい、漁場環境や水産資源の保護への理解促進を図るため、様々な内容の少年少女水産講座を開催している。

漁業後継者対策で始まった水産講座であるが、近年は自然環境と生態系の保全、漁業文化の伝承、漁獲物の調理・食体験を通じた食育や地元産物の再発見など、水産業のもつ多面的機能に対する要望や意識の高まりを背景に、地域交流や総合学習の一環として季節を問わず、漁協、市町村、学校などの主催で実施する機会が増加し、参加者から好評を得ている。(表7)

表7 平成26年度水産講座の実績

実施日	場所	参加者	主催	協力機関	児童人数	内容
H26.7.22	銚田市	銚田市立白鳥西小学校 5年生 銚田市立上島西小学校 5年生	きたうら広域漁協 大洋支部	霞ヶ浦北浦水産事務所	30	トロール等操業見学, ワカサギ等料理試食, 水産に関する講義
H26.10.8	行方市	行方市立麻生東小学校 4年生 行方市立栗田小学校 5年生 行方市立武田小学校 6年生 行方市立津澄小学校 5年生	行方市漁業振興協議会	きたうら広域漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	115	トロール等操業見学, ワカサギ等料理試食, 水産に関する講義
H26.11.12	行方市	行方市玉造小学校 5年生	行方市漁業振興協議会	霞ヶ浦漁協 玉造支部 霞ヶ浦北浦水産事務所	115	帆引き船操業見学, 定置網見学 水産に関する講義, ワカサギ等試食
H27.2.13	かすみがうら市	かすみがうら市立佐賀小学校	かすみがうら市	霞ヶ浦漁協かすみがうら市支部 霞ヶ浦北浦水産事務所	32	ワカサギ人工採卵体験, 水産に関する講義, ワカサギ卵観察・飼育
H27.2.20	稲敷市	稲敷市立浮島小学校 4年生	霞ヶ浦北浦水産事務所	霞ヶ浦漁協浮島支部 霞ヶ浦北浦水産事務所	12	ワカサギ人工採卵体験, 地域漁業 実態・資源保護等に関する講義, ワカサギ・シラウオ等料理試食, ワ カサギ卵観察・飼育
H27.2.19	銚田市	銚田市立白鳥西小学校 4年生 銚田市立上島西小学校 4年生	きたうら広域漁協 大洋支部	霞ヶ浦北浦水産事務所	35	ワカサギ人工採卵体験, 地域漁業 実態・資源保護等に関する講義, 鯉のみそ汁提供等
合計(延べ人数)					339	

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

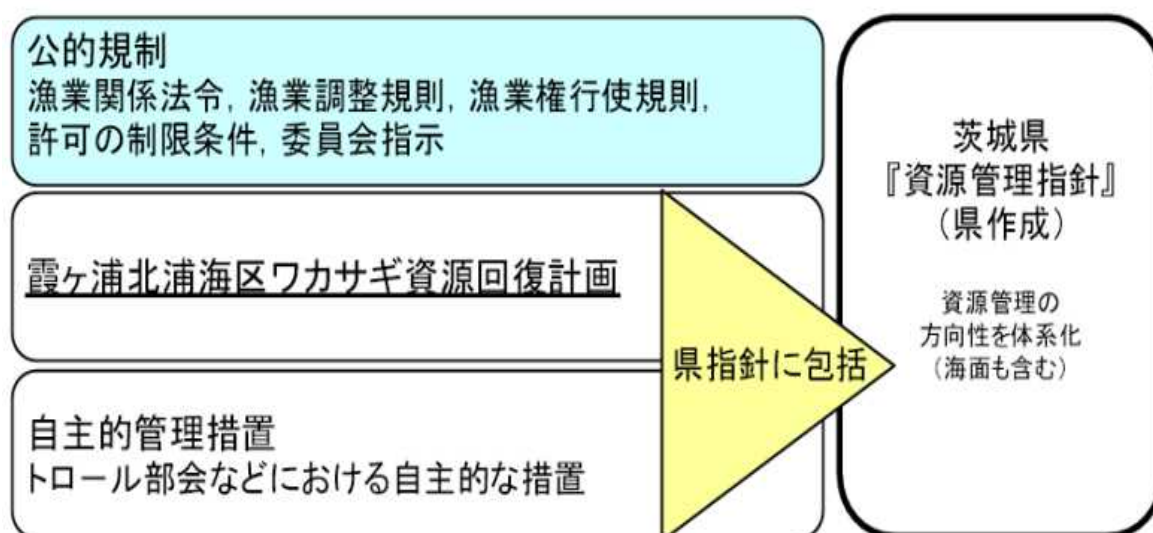
4 資源管理型漁業の推進

資源管理型漁業については、ワカサギ資源の維持増大を図るため、平成18年度に「霞ヶ浦北浦海区ワカサギ資源回復計画(以下、「ワカサギ資源回復計画」)」を策定し、平成22年度までの5ヶ年間に各種調査研究並びに関連事業を実施した。また、漁獲データに基づく漁獲努力量の削減措置の仕組みについても導入した。

平成23年度以降は「茨城県資源管理指針(平成23年3月策定)」により従来の「ワカサギ資源回復計画」における取り組みを引き続き継続するとともに、漁業者による自主的な取り組みを一層充実させながらワカサギ資源の維持・拡大を図っている。

なお、現在は漁業者間による話し合いの場である漁業者部会(霞ヶ浦地区においては「トロール部会」、「定置部会」)が設立され、「従来の行政主導による法令管理」に加え「漁業者自身による自主管理ルール」の策定・遵守による新しい漁業管理制度が構築されている。

資源管理体制のイメージ図



〔資源管理の取り組み〕

(1) 漁業者による自主的な取組み

いさぎ・ごろひき網漁業(横ひき)では、ワカサギ稚魚の混獲防止のため、ゴールデンウィーク期間に自主休漁期間の設定を行ったほか、わかさぎ・しらうおひき網漁業(トロール)においても、テナガエビ漁の操業自粛区域や終漁日の設定を行った。(表8)

表8 平成26年度の自主的な取組み

事項	地区	目的	内容	開始年
いさぎ・ごろひき網漁業(横ひき)の自主規制	霞ヶ浦北浦の全地区	ワカサギ稚魚の保護	・自主休漁による混獲防止 霞ヶ浦: 4/26~5/6までの11日間 北浦: 4/26~5/6までの11日間	平成10年
わかさぎ・しらうおひき網漁業(トロール)の自主規制	霞ヶ浦地区	テナガエビ資源の保護	・操業自粛区域の設定 11月16日から11月30日まで一部漁場を閉鎖 ・終漁日の設定 11月30日をもってトロールによるエビ漁を終了	平成26年

(2) 漁業者部会の設立

漁業者による自主的な漁業管理を推進するため、関係漁協は平成22年6月に、漁業者間の話し合いにより操業調整等を行う漁協内部組織として、基幹漁業であるわかさぎ・しらうおひき網漁業（トロール）を対象とする「トロール部会」を設立した。（※その後、いさざ・ごろひき網漁業（横ひき）も同部会で扱うこととなった。）また、平成23年6月には張網やさし網などの定置型漁業についても定置部会が設立された。（※北浦地区では両部会を当面合同組織としている。）

これらの部会によって定期的に操業に関する意見交換が行われるようになり、当地区に「漁業者自身による漁業管理」という考え方が加わった。さらに、平成25年度からは加工業者も含めた「資源利用協議会」も設立され、自主的な資源管理が実践されている。

表9 漁業者部会の設立状況

	霞ヶ浦地区	北浦地区
構成漁協	霞ヶ浦漁協、麻生漁協	きたうら広域漁協、潮来漁協、常陸川漁協
トロール部会 (横ひき)	【平成22年6月設立】 トロール漁業（許可）、 横ひき漁業※（許可） ※平成23年7月併合決定	【平成22年6月設立】 トロール漁業（許可） ※横ひき、定置漁業については、必要に応じ 合同で部会を開催（平成23年7月決定）。
定置部会	【平成23年6月設立】 張網（漁業権、許可）、 さし網（許可）、つけ漁業（許可）、 その他自由漁業	

(3) 漁業者による自主規制

従来からの法令規制に加え、漁業者は自ら自主規制を定めて、資源動向や買い手のニーズ、漁場トラブル防止などを考慮した弾力的な漁業管理を実施している。

【これまでに制定された自主規制等】（ ）は制定日

- いさざ・ごろひき網漁業漁業管理協定（霞：平21.1.8，北：平21.1.22）
- わかさぎ・しらうおひき網漁業自主管理協定（霞：平22.6.18，北：平22.6.18）
- しらうおさし網漁業漁業管理規約（霞：平21.7.24他，北：平21.7.27他）
- 雑魚さし網漁業漁業管理協定（霞：平21.12.8，北：平21.12.8）
- つけ漁業漁業管理協定（霞：平22.3.1，北：平22.3.1）
- 張網漁業漁業管理規約（霞：平22.7.13，北：平22.7.12）※許可漁業
- ワカサギ等資源活用事業のための年末トロール試験操業実施計画書
(霞北：平23.11，平24.11)

(4) その他の取り組み

① 資源の積極的培養措置

ワカサギ人工ふ化放流事業の実施により、漁業者がワカサギ産卵親魚を採捕し、採卵から放流までを人工的に行っている。

② 漁場環境の保全措置

水生植物帯造成事業や漁業による水質浄化機能促進事業の実施により、漁場環境の維持修復を図るためヨシなど水生植物帯の造成事業をおこなうとともに、食害等の影響のあるアメリカナマズ等の回収を行っている。

③ 調査研究

県水産試験場内水面支場を中心に、ワカサギの資源動向調査や漁場環境調査を実施するとともに、効果的な資源管理方策の研究が行われている。

5 漁業制度

霞ヶ浦北浦は、漁業法による海区指定を受け、海面と同じ漁業制度がとられている。

(主要漁業の年間操業期間及び漁獲対象種の時期は、表10のとおり)

(1) 漁業権漁業 (表11)

漁業権とは、都道府県知事の免許を受け、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利であり、「共同漁業権」、「区画漁業権」及び「定置漁業権」の3種類があるが、霞ヶ浦北浦では「共同漁業権」と「区画漁業権」が免許されている。なお、漁業権の免許期間は、10年(特定区画漁業権※及び定置漁業権は5年)となっている。霞ヶ浦北浦には湖岸帯沿いに雑魚張網漁業を内容とする第2種共同漁業権が18件、こいなど網いけす養殖業を内容とする第1種区画漁業権が16件、真珠養殖業を内容とする第1種区画漁業権が5件免許されている。

(2) 知事許可漁業 (表12)

知事許可漁業は、小型機船底びき網漁業などのように、漁業法に基づき知事が許可する法定知事許可漁業と、各都道府県ごとに漁業調整規則によって許可する知事許可漁業があり、許可の有効期間はいずれも3年である。霞ヶ浦北浦では、小型機船底びき網漁業(法定知事許可漁業)526件、さし網漁業703件、つけ漁業151件、建網漁業21件、機船船びき網漁業1件、計1,402件が許可されている。

(3) 自由漁業 (表13)

自由漁業とは、漁業権漁業及び許可漁業以外に漁業者が営むことの出来る漁業であり、霞ヶ浦北浦ではうなぎ漁(はえ縄、筒、せん等)や船舶からの投網漁など約546件が操業されている。

(4) 保護水面、禁止区域

水産資源の保護培養を目的として、一切の水産動植物の採捕を禁止している「保護水面」(霞ヶ浦2ヶ所、北浦2ヶ所)及び「禁止区域」(霞ヶ浦7ヶ所、北浦2ヶ所)が設定されている(「11.霞ヶ浦北浦の漁場概要図」参照)。

表10 霞ヶ浦北浦における主要漁業の操業期間及び漁獲時期

漁業種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いさぎ・ごろひき網漁業 (横ひき網)	1/20 →		← 3/1									
わかさぎ・しらうおひき網 漁業(トロール網)							7/21 ←					→ 12/31
雑魚さし網(掛網)	1/1 ←											→ 12/31
しらうおさし網 (しらうお建網)		2月末日 →		← 4/1	5/15 →						← 11/1	
ます網(張網漁業)	1/20 →		← 3/1									
つけ漁業	1/1 ←											→ 12/31
【魚種別漁獲時期】												
ワカサギ								←				→
シラウオ		→		←	→			←				→
エビ										←		→
小・中エビ											←	→
大エビ								←				→
ザザエビ									←			→
ゴロ					←		→	←				→
イサザアミ				←		→						
フナ・コイ		→								←		

表11 霞ヶ浦北浦における漁業権の現況

(平成27年3月31日現在)

種 別	免許 件数	漁業の種類	免許満了年月日 (免許期間)	主な漁獲種 (養殖種)
第2種共同漁業権	18件	大型雑魚張網漁業 (行使件数：569件以内) 小型雑魚張網漁業 (行使件数：1,345件以内)	平35.8.31 (10年)	エビ、ゴロ、 ワカサギ、 フナ、コイ
第1種区画漁業権	16件	小割式養殖業 (行使数：1,931面以内)	平31.8.31 (5年)	(コイ、フナ等)
	5件	真珠養殖業	平35.8.31 (10年)	(淡水真珠)

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表12 霞ヶ浦北浦における知事許可漁業の現況

(平成27年3月31日現在)

漁業の名称	漁業種類	地方名称	許可件数(件)	許可満了 年月日
小型機船 底びき網漁業	手操第1種漁業	いさざ・ごろひき網漁業	161	平30.2.28
	手操第3種漁業	しじみかき漁業	※1	
	打瀬漁業	まんぐわ漁業	※2	
	その他の小型機船底 びき網漁業	帆びき網漁業		
機船船びき網 漁業	わかさぎ・しらうおひき 網漁業		365	平28.7.20
	こい・ふな機船 船びき網漁業	小大徳網漁業	1	平28.12.31
その他の機船 船びき網漁業	小大徳網漁業	0		
さし網漁業	雑魚さし網漁業	掛網漁業	474	平30.12.31
	しらうおさし網漁業	しらうお建網漁業	229	平30.8.31
建網漁業	ます網漁業	張網漁業	21	平28.7.27
つけ漁業	おだ漁業		33	平28.3.24
	笹浸漁業		92	
	その他つけ漁業		26	
合 計			1,402	

※1：しじみかき漁業及びまんぐわ漁業については資源状況の悪化により休止

※2：帆びき網漁業については、特別採捕許可により操業（8隻）

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表13 霞ヶ浦北浦における自由漁業の現況

(平成27年3月31日現在)

漁業の名称	霞ヶ浦地区計	北浦地区計	霞北合計
ふなせん	4	9	13
こいせん	14	0	14
えびせん	6	9	15
うなぎ(せん, 筒, 竹, 竹筒)	175	60	235
はえなわ	94	61	155
投網	54	50	104
どじょう網	8	0	8
つくし	1	0	1
こずまき	0	1	1
合 計	356	190	546

※各地区における承認数(漁協聞き取り)

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

6 水産物流通加工

(1) 水産物の流通

霞ヶ浦北浦では、ワカサギ、シラウオ、エビ類、ハゼ類（ゴロ）などの小型魚介類が主として漁獲され、その大部分が加工原料として利用されてきた。当地区には産地市場が存在しないことから、多くの漁業者は、地元の水産加工業者に直接水揚げを行っているが、近年では漁業者自らによる自家加工や、消費地市場への出荷なども一部で行われるようになり、流通形態の多様化が進んでいる。

また、水産加工業者も、安定供給などの販売先から求められる強いニーズに応えるため、漁獲量が不安定な地元原料に加え、他県産や外国産原料を導入することにより、経営安定化を図る原料調達システムが定着している。

その結果、外国産等の原料に対する地元原料への依存度が低下し、地元原料を中心とした「漁獲－加工」の需給バランスが機能せず、ここ数年、高位で安定基調にあるワカサギ資源が十分に活用されないといった問題も生じている。

平成26年の加工原料となる原魚の調達量は全体で、2,570トンで、前年の1,996トンに比べ約574トン（29%）増加した。

調達先別にみると、県内産のものが472トンで、前年に比べ36トン増加した。

移入原料については、県外産が601トンで、前年に比べ181トン増加、外国産原料は1,497トンで、前年に比べ356トン増加した。

他県産と外国産をあわせた移入原料の使用量は、平成15年以降は3,000トン台を維持していたが、近年は2,000トン前後で推移しており、平成26年は2,098トンであった（表14-1、表14-2、表14-3）。

(2) 水産加工業者並びに加工製品の流通

霞ヶ浦北浦で水産加工が始められたのは江戸時代末期であるとされ、当時は煮干の製造が主流であったといわれている。また、現在の代表的な水産加工品である佃煮については、明治の初めに東京から製法が導入され、当地域で盛んに製造されるようになったと伝えられている。

水産加工品はその後も、当地域の加工業者の手によって使用原料の選定や加工方法の開発、改良が進められ、当地域の特産物としての地位を確立し、現在に至っている。

当地域には水産加工業協同組合5団体と同連合会1団体が存在したが、平成17年8月1日に合併し、1つの水産加工業協同組合となっている。

平成27年3月時点における組合員数は56経営体となっており、近年の経営体数は転業や廃業により漸減傾向にある。

平成26年の従事者数別の事業所数をみると、5人以下の経営体が32経営体、次いで6～10人層が8経営体となっている（図7）。

総従事者数は357人で、このうち常時雇用者数は304人、臨時雇用者数は53人であった。（表15-1、表15-2）

当地域における水産加工業経営の動向をみると、自ら加工した製品を自己店舗により販売する業者のほか、加工よりも販売を重点的に行っている業者や、大量に原料を確保して加工を行い各地に向けて出荷している業者など、事業形態が多様化、分業化しつつある。

当地域における加工生産量は、平成5年をピークに数量及び金額ともに減少し、平成13年以降は数量で約4千トン、金額で35億円程度で推移していた。しかし、平成23年以降は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う水産物の安全性に対する風評被害の影響を受け、加工販売量の落ち込みは続いているが、販売額は回復の傾向も認められる。

◆水産加工品販売量（図8、表16-1、表16-2）

平成26年の水産加工品の総販売量は1,757トンで、前年に比べて102トン（5.5%）減少した。

種類別にみると、佃煮類が最も多く1,296トンで前年に比べて111トン減少、次いで煮干し類が241トンで、前年に比べて70トン減少した。続いて、焼き物76トン、うな

ぎ加工品27トンとなっている。

◆水産加工品販売額（表16-1，表16-2）

平成26年の総販売額は2,117百万円で，前年に比べて99百万円（4.5%）減少した。

種類別にみると，佃煮類が最も多く1,476百万円で，前年より8百万円減少した。次いで煮干し類が320百万円で，前年に比べて63百万円減少しており，続いて焼き物類150百万円，うなぎ加工品139百万円であった。

◆買取販売(表17)

買取販売は他の水産加工業者が製造した製品を仕入れて販売するもので，加工販売の集計は製造者が販売者に出荷する段階で行うことになるので，重複を防ぐために加工販売とは別に集計した。

販売量を種類別にみると，煮干し類111トン，佃煮類が45トン，焼き物類が5トン，うなぎ加工品が1トンとなっている。

販売額を種類別にみると，煮干し類58百万円，佃煮類63百万円，焼き物類9百万円，うなぎ加工品6百万円となっている。

水産加工業者及び加工組合は，水揚げされる魚種の変化や多様化する消費者ニーズに対応した様々な新製品の開発を行うとともに，各地で行われている催事への出品や県内外の量販店等におけるPR活動などを行い，消費の拡大に努めている。また，水産加工品の特産品としての銘柄化を図るため，当地域の多くの水産加工品が茨城県水産物開発普及協会が主催している水産加工優良産品推奨品の認定を受けており（平成26年12月現在64件，認定から5年間有効），いばらきの味キャッチフレーズ「うまいもんどころ」と一体になり銘柄化を推進している。

(3) 生鮮魚，養殖魚の流通

霞ヶ浦北浦の漁獲物は加工の他に鮮魚としても流通しており，ワカサギ，シラウオ，エビ等が市場に出荷されている。又，平成12年から続いてきたシラウオの加熱表示に関する自主規制が見直され，平成26年より加熱表示なしでの出荷が認められた。

平成26年の活魚・鮮魚の総販売量は340トンで，前年に比べて25トン増加した。総販売額は249百万円で，前年に比べて85百万円増加した。（表18-1，表18-2）

養殖魚については，コイ，アメリカナマズ等があり，大部分は養殖業者自身によって県外に活魚出荷されている。そのうち養殖コイについては，平成15年11月以降はKHV病により養殖が休止中となっていたが，平成18年12月に内水面水産試験場での試験結果を受け，あらい，切り身等の販売が可能となった。さらに，平成21年4月には養殖が，平成25年にはKHV病の既発生水域間の活魚移動が条件付きで再開になった。アメリカナマズについては，平成17年6月に特定外来生物に指定されたため，活魚での出荷は国の許可を受けた業者間のみとなっている。

◆水産物流通加工に関するデータについての留意事項

- ・調査対象：霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合の平成27年1月時点の組合員56経営体
- ・集計経営対数：47経営体
- ・調査対象期間：平成26年1月1日から平成26年12月31日まで。
- ・焼き物類は取引の慣習に合わせ「串」単位で調査し，下記の基準により重量換算した。

※ 平成14年まではすべて100串＝1kgで換算

（基準）すずめ焼	50串＝1kg	焼わかさぎ	30串＝1kg
鬼がら焼	90串＝1kg	その他の串焼	50串＝1kg

表14-1 平成25年 魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	91.8	2.0	713.2	715.2	807.0	88.6%
しらうお	84.7	0.0	30.2	30.2	114.9	26.3%
ごろ(はぜ類)	15.5	0.0	49.0	49.0	64.5	76.0%
あみ	14.1	194.4	0.0	194.4	208.5	93.2%
えび	168.5	0.0	270.2	270.2	438.7	61.6%
ふな	0.0	2.5	13.9	16.4	16.4	100.0%
うなぎ	0.0	18.4	0.0	18.4	18.4	100.0%
その他	61.5	202.5	64.0	266.5	328.0	81.2%
合計	436.0	419.8	1,140.5	1,560.3	1,996.3	78.2%
平成24年実績	301.2	420.5	1,011.9	1,432.4	1,733.7	82.6%

表14-2 平成26年 魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	111.1	0.0	1,116.0	1,116.0	1,227.1	90.9%
しらうお	67.9	0.0	30.0	30.0	97.9	30.6%
ごろ(はぜ類)	19.0	0.0	38.0	38.0	57.0	66.7%
あみ	4.1	348.6	0.0	348.6	352.7	98.8%
えび	214.3	8.0	261.7	269.7	484.0	55.7%
ふな	2.0	2.1	24.1	26.2	28.2	92.9%
うなぎ	0.0	24.6	0.0	24.6	24.6	100.0%
その他	53.5	217.5	27.0	244.5	298.0	82.0%
合計	471.9	600.8	1,496.8	2,097.6	2,569.5	81.6%
平成25年実績	436.0	419.8	1,140.5	1,560.3	1,996.3	78.2%

表14-3 移入原料の推移

(単位：トン)

区分 魚種	年										
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
わかさぎ	976	513	716	1,251	1,178	1,202	529	1,128	679	715	1,116
しらうお	139	207	204	180	176	212	36	63	83	30	30
ごろ(はぜ類)	235	193	187	232	128	128	3	67	62	49	38
あみ	174	144	208	196	247	247	208	257	202	194	349
えび	411	327	315	321	251	252	323	235	327	270	270
ふな	89	72	65	66	46	55	117	27	19	16	26
うなぎ	68	95	65	39	29	53	28	27	27	18	25
その他	872	1,580	1,543	1,066	1,036	74	687	332	336	267	245
合計	2,964	3,131	3,303	3,351	3,091	2,223	1,932	2,135	1,734	1,560	2,098
* 全体比	87.2%	72.6%	82.5%	87.0%	82.3%	77.6%	78.5%	77.3%	82.6%	78.2%	75.2%

* 全体比は当該年における加工原料全体のうち、移入原料の占める割合を示している。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

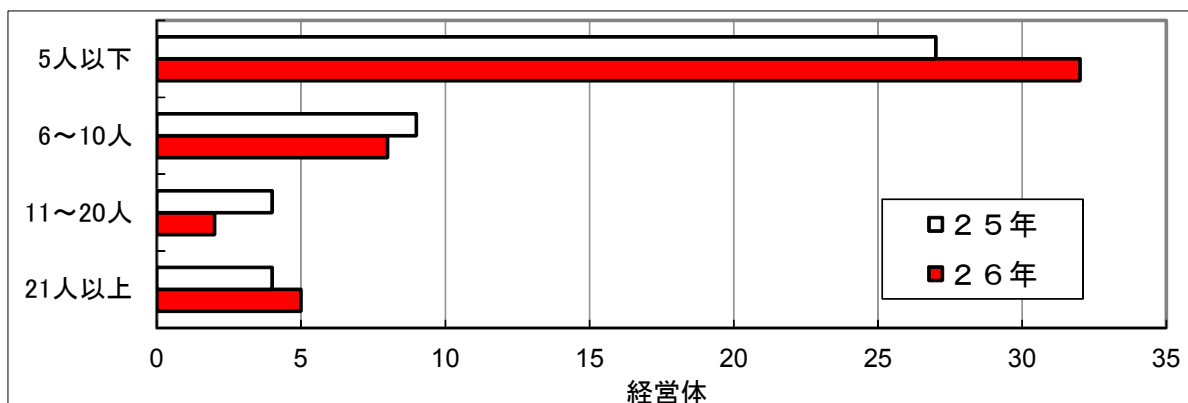


図7 従事者数別事業所数比較<対前年>
(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表15-1 平成26年 加工業従事者の構成 (単位:人)

区分	常時雇用								臨時雇用		合計 (a+b+c+d)
	男子				女子				男子 (c)	女子 (d)	
	~39歳	40~59歳	60~歳	小計 (a)	~39歳	40~歳	60~歳	小計 (b)			
土浦	0	6	7	13	2	8	17	27	0	0	40
かすみがうら	9	17	4	30	16	57	25	98	4	12	144
霞ヶ浦	4	8	12	24	3	24	33	60	10	12	106
湖南	2	1	1	4	0	4	7	11	3	3	21
北浦	1	7	6	14	2	11	10	23	4	5	46
合計	16	39	30	85	23	104	92	219	21	32	357

(注) ・常時雇用:1年以上の期間にわたり継続して雇用される者。家族を含み経営者を除く。
・臨時雇用:継続して雇用される期間が1年未満の者、又は日々雇用される者。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表15-2 加工業従事者数の推移 (単位:人)

年		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
常時	男子	116	115	110	110	109	93	96	103	94	85
	女子	244	242	240	247	258	228	205	210	193	219
	小計	360	357	350	357	367	321	301	313	287	304
臨時	男子	10	19	14	15	18	6	18	32	17	21
	女子	54	46	63	42	32	32	27	10	19	32
	小計	64	65	77	57	50	38	45	42	36	53
合計	男子計	126	134	124	125	127	99	114	135	111	106
	女子計	298	288	303	289	290	260	232	220	212	251
	合計	424	422	427	414	417	359	346	355	323	357

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

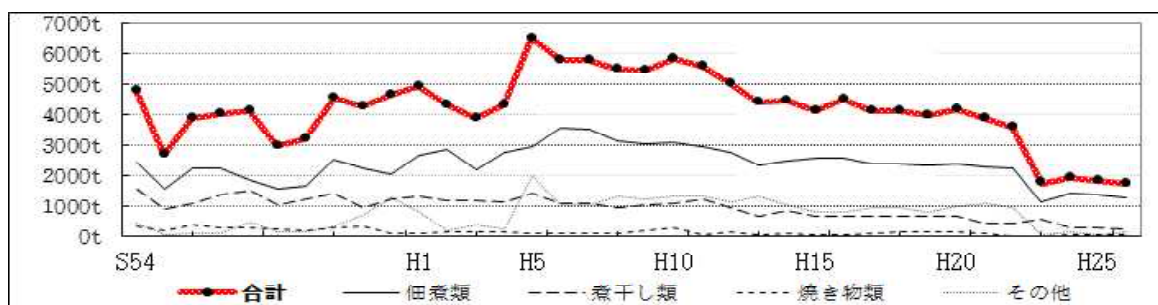


図8 加工販売量の推移 (霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表16-1 加工販売量・販売額の推移

(単位：上段 トン，下段 千円)

種類	年	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
わかさぎ煮干	数量	46.6	48.0	59.9	40.7	91.6	124.9	103.3	38.8	54.3	59.0
	金額	118,020	128,605	159,640	117,468	200,637	275,472	205,425	95,805	114,630	126,314
しらうお煮干	数量	47.5	60.5	63.0	78.8	60.6	49.0	346.4	38.8	52.3	38.5
	金額	134,596	182,730	152,400	239,719	160,801	129,485	276,105	111,937	155,159	100,957
あみ煮干	数量	282.0	272.5	249.5	213.7	95.6	56.5	6.0	40.0	31.0	0.9
	金額	55,940	54,400	48,090	45,515	17,725	16,220	4,200	13,500	7,750	236
えび煮干	数量	308.6	288.1	281.3	325.7	171.4	183.9	118.9	150.8	167.8	137.4
	金額	157,115	133,971	167,138	178,002	87,193	96,785	58,675	104,839	99,847	87,434
その他の煮干	数量	0.0	1.0	16.5	12.1	10.6	14.5	0.5	10.5	5.1	5.0
	金額	55	1,015	4,373	11,075	9,350	21,250	500	9,500	5,150	5,000
煮干計	数量	684.7	670.1	670.2	671.0	429.8	429.8	575.0	278.9	310.5	240.8
	金額	465,726	500,721	531,641	591,779	475,706	539,212	544,905	335,581	382,536	319,941
わかさぎ佃煮	数量	287.1	329.9	318.3	379.1	329.2	394.6	278.5	277.1	275.5	234.5
	金額	362,719	442,480	421,900	458,112	378,730	468,282	340,615	361,388	376,345	342,010
しらうお佃煮	数量	101.0	103.5	36.5	40.5	20.7	14.6	8.1	29.1	29.0	20.9
	金額	152,500	159,000	54,350	63,000	38,470	24,190	6,650	46,240	59,343	46,309
はぜ佃煮	数量	202.1	176.7	239.5	162.3	112.5	102.6	42.9	26.7	35.9	34.0
	金額	227,165	191,355	306,966	182,280	141,520	126,355	58,200	33,028	46,552	46,978
あみ佃煮	数量	399.9	403.9	339.7	284.3	287.1	251.5	226.3	227.5	266.1	220.7
	金額	215,800	210,670	181,425	176,848	172,264	158,610	152,795	143,750	162,488	149,776
えび佃煮	数量	273.3	325.9	372.6	237.1	312.8	286.5	279.6	144.2	169.6	156.4
	金額	232,315	266,235	298,810	202,175	260,636	255,155	248,610	115,336	155,916	151,706
ふな佃煮	数量	22.1	23.6	25.0	25.8	25.9	16.8	15.6	14.2	14.6	14.4
	金額	32,660	32,290	42,900	31,380	27,610	22,075	19,855	17,550	17,286	20,800
その他の佃煮	数量	1,097.7	1,001.1	1,012.7	1,257.7	1,209.6	1,160.5	292.0	723.1	616.5	615.5
	金額	908,600	875,150	908,800	1,070,190	990,000	965,250	253,391	120,980	666,400	717,977
佃煮計	数量	2,383.2	2,364.6	2,344.3	2,386.8	2,297.8	2,227.0	1,142.9	1,441.9	1,407.1	1,296.4
	金額	2,131,759	2,177,180	2,215,151	2,183,985	2,009,230	2,019,917	1,080,116	838,272	1,484,330	1,475,556
すずめ焼き	数量	12.2	10.2	8.7	3.6	3.2	0.9	1.0	2.7	1.2	1.8
	金額	12,551	15,279	9,835	5,442	4,748	1,504	1,672	2,770	2,450	3,200
焼わかさぎ	数量	49.4	52.5	113.4	77.4	59.3	9.7	12.5	48.1	44.2	49.8
	金額	40,871	46,040	115,209	79,220	64,336	14,520	12,720	79,145	58,425	60,925
鬼がら焼	数量	27.0	47.6	25.6	32.6	23.8	8.3	4.6	26.8	23.7	22.1
	金額	51,621	91,025	60,157	73,888	71,213	21,026	14,444	99,710	75,410	79,510
その他焼物	数量	24.4	20.1	1.4	17.7	17.7	1.6	1.2	1.0	1.1	2.4
	金額	25,900	22,219	2,014	18,800	18,900	2,800	2,400	2,000	2,250	6,000
焼物計	数量	113.0	130.4	149.1	131.3	104.0	20.5	19.3	78.6	70.3	76.1
	金額	130,943	174,563	187,215	177,350	159,197	39,850	31,236	183,625	138,535	149,635
うなぎ加工品	数量	56.9	65.2	57.4	29.0	30.6	25.4	23.5	25.4	22.7	27.0
	金額	151,230	146,600	180,790	115,455	117,455	100,360	108,313	129,935	155,225	139,020
冷凍品	数量	—	—	—	—	—	—	—	—	27.0	95.8
	金額	—	—	—	—	—	—	—	—	35,885	13,744
その他	数量	890.0	904.0	780.0	990.6	1,048.3	915.1	53.2	137.8	21.5	21.2
	金額	785,220	688,160	556,200	655,822	674,662	651,520	43,090	90,630	19,150	19,032
その他計	数量	946.9	969.2	837.4	1,019.6	1,078.9	940.5	76.7	163.2	71.2	144.0
	金額	936,450	834,760	736,990	771,277	792,117	751,880	151,403	220,565	210,260	171,796
合計	数量	4,127.7	4,134.3	4,001.0	4,208.7	3,910.5	3,616.7	1,813.9	1,962.6	1,859.1	1,757.3
	金額	3,664,878	3,687,224	3,670,997	3,724,391	3,436,250	3,350,859	1,807,660	1,578,043	2,215,660	2,116,928

(注) 1 釜揚げは煮干しの中に、甘露煮は佃煮の中を含める。

2 わかさぎ筏焼きは焼きわかさぎの中を含める。

3 冷凍品は平成 24 年以前はその他に含める。

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表16-2 平成26年 加工販売量・販売額

(単位:上段トン,下段千円)

種 類	支 部 名	土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比 率
わかさぎ煮干	数量	0.0	39.6	8.9	3.4	7.1	59.0	3.4%
	金額	0	83,200	20,630	9,864	12,620	126,314	6.0%
しらうお煮干	数量	0.0	25.4	6.1	2.9	4.1	38.5	2.2%
	金額	0	61,280	18,296	10,743	10,638	100,957	4.8%
あみ煮干	数量	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	0.9	0.1%
	金額	0	0	0	60	176	236	0.0%
えび煮干	数量	0.2	89.3	23.0	2.0	22.9	137.4	7.8%
	金額	1,000	59,620	10,592	1,513	14,709	87,434	4.1%
その他の煮干	数量	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.3%
	金額	0	5,000	0	0	0	5,000	0.2%
煮 干 計	数量	0.2	159.3	38.0	8.4	34.9	240.8	13.7%
	金額	1,000.00	209,100	49,518	22,180	38,143	319,941	15.1%
わかさぎ佃煮	数量	1.9	164.0	47.6	3.1	17.9	234.5	13.3%
	金額	6,475	213,359	82,439	7,260	32,477	342,010	16.2%
しらうお佃煮	数量	0.0	15.5	3.1	0.8	1.5	20.9	1.2%
	金額	0	34,510	6,128	2,700	2,971	46,309	2.2%
はぜ佃煮	数量	0.0	15.4	4.4	4.3	9.9	34.0	1.9%
	金額	0	18,677	6,758	7,631	13,912	46,978	2.2%
あみ佃煮	数量	1.2	195.1	18.0	0.5	5.9	220.7	12.6%
	金額	2,375	126,350	13,900	631	6,520	149,776	7.1%
えび佃煮	数量	2.4	128.2	16.3	2.5	7.0	156.4	8.9%
	金額	6,000	116,640	18,035	3,926	7,105	151,706	7.2%
ふな佃煮	数量	0.0	10.0	3.0	0.2	1.2	14.4	0.8%
	金額	0	12,000	6,900	340	1,560	20,800	1.0%
その他の佃煮	数量	0.7	500.8	54.3	0.7	59.0	615.5	35.0%
	金額	1,750	584,047	63,300	1,380	67,500	717,977	33.9%
佃 煮 計	数量	6.2	1,029.0	146.7	12.1	102.4	1,296.4	73.8%
	金額	16,600.00	1,105,583	197,460	23,868	132,045	1,475,556	69.7%
すずめ焼き	数量	0.0	0.8	1.0	0.0	0.0	1.8	0.1%
	金額	0	1,600	1,600	0	0	3,200	0.2%
焼わかさぎ	数量	0.0	39.3	3.8	0.0	6.7	49.8	2.8%
	金額	0	53,100	5,225	0	2,600	60,925	2.9%
鬼がら焼	数量	0.0	15.6	1.0	0.0	5.5	22.1	1.3%
	金額	110	70,000	5,250	0	4,150	79,510	3.8%
その他焼物	数量	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.1%
	金額	0	0	6,000	0	0	6,000	0.3%
焼 物 計	数量	0.0	55.7	8.2	0.0	12.2	76.1	4.3%
	金額	110.0	124,700.0	18,075.0	0.0	6,750.0	149,635	7.1%
うなぎ加工品	数量	16.1	2.5	7.4	1.0	0.0	27.0	1.5%
	金額	60,970	17,430	54,120	6,500	0	139,020	6.6%
冷凍品	数量	0.0	30.0	11.8	0.0	54.0	95.8	5.5%
	金額	0	4,304	6,740	0	2,700	13,744	0.6%
そ の 他	数量	7.5	0.0	13.7	0.0	0.0	21.2	1.2%
	金額	9,000	0	10,032	0	0	19,032	0.9%
そ の 他 計	数量	23.6	32.5	32.9	1.0	54.0	144.0	8.2%
	金額	69,970.0	21,734.0	70,892.0	6,500.0	2,700.0	171,796	8.1%
合 計	数量	30.0	1,276.5	225.8	21.5	203.5	1,757.3	100.0%
	金額	87,680.0	1,461,116.8	335,945.0	52,548.0	179,638.0	2,116,928	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表17 平成26年 地区別買取販売量・販売額

(単位：上段 トン, 下段 千円)

支 部 名		土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖南	北浦	合計	比率
種 類	数 量							
	金 額							
わかさぎ煮干	数 量	7.3	3.0	0.4	0.0	1.9	12.6	1.4%
	金 額	8,640	6,000	1,050	0	3,210	18,900	3.1%
しらうお煮干	数 量	0.9	0.0	0.4	0.0	0.3	1.6	0.2%
	金 額	4,497	0	1,200	0	840	6,537	1.1%
あみ煮干	数 量	0.0	80.0	0.2	0.0	0.5	80.7	9.2%
	金 額	0	22,000	280	0	110	22,390	3.6%
えび煮干	数 量	8.0	0.0	0.0	0.2	6.5	14.7	1.7%
	金 額	4,100	0	0	80	4,110	8,290	1.3%
その他の煮干	数 量	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.1%
	金 額	0	0	2,000	0	0	2,000	0.3%
煮 干 計	数 量	16.2	83.0	2.0	0.2	9.2	110.6	12.6%
	金 額	17,237	28,000	4,530	80	8,270	58,117	9.4%
わかさぎ佃煮	数 量	4.5	0.0	1.8	0.1	0.4	6.8	0.8%
	金 額	7,849	0	6,257	303	1,140	15,549	2.5%
しらうお佃煮	数 量	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	1.0	0.1%
	金 額	1,456	0	745	0	0	2,201	0.4%
はぜ佃煮	数 量	0.7	0.2	0.3	0.0	0.5	1.7	0.2%
	金 額	1,350	180	1,225	0	1,250	4,005	0.6%
あみ佃煮	数 量	1.4	0.0	1.9	0.3	0.0	3.6	0.4%
	金 額	1,747	0	4,018	360	60	6,185	1.0%
えび佃煮	数 量	11.6	0.0	1.4	0.0	1.7	14.7	1.7%
	金 額	10,976	0	3,200	0	2,115	16,291	2.6%
ふな佃煮	数 量	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0	0.7	0.1%
	金 額	800	0	350	180	0	1,330	0.2%
その他の佃煮	数 量	0.0	0.0	15.0	1.0	0.0	16.0	1.8%
	金 額	0	0	15,000	2,000	0	17,000	2.8%
佃 煮 計	数 量	19.4	0.2	20.8	1.5	2.6	44.5	5.0%
	金 額	24,178	180	30,795	2,843	4,565	62,561	10.1%
すずめ焼き	数 量	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0%
	金 額	0	0	180	135	0	315	0.1%
焼わかさぎ	数 量	1.0	2.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.4%
	金 額	2,983	2,480	100	0	0	5,563	0.9%
鬼がら焼	数 量	0.1	1.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.1%
	金 額	400	2,761	0	0	0	3,161	0.5%
その他焼物	数 量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金 額	0	0	0	0	0	0	0.0%
焼 物 計	数 量	1.1	3.7	0.0	0.1	0.0	4.9	0.6%
	金 額	3,383	5,241	280	135	0	9,039	1.5%
うなぎ加工品	数 量	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.1%
	金 額	6,096	0	0	0	0	6,096	1.0%
冷凍品	数 量	0.0	700.0	19.0	0.0	0.0	719.0	81.7%
	金 額	0	467,895	12,700	0	0	480,595	78.0%
そ の 他	数 量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
	金 額	0	0	0	0	0	0	0.0%
そ の 他 計	数 量	1.3	700.0	19.0	0.0	0.0	720.3	81.8%
	金 額	6,096	467,895	12,700	0	0	486,691	79.0%
合 計	数 量	38.0	786.9	41.8	1.8	11.8	880.3	100.0%
	金 額	50,894	501,316	48,305	3,058	12,835	616,408	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表18-1 平成25年 魚種別活魚・鮮魚販売実績

(単位:上段トン,下段千円)

支部名		土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比率 (%)
わかさぎ	数量		2.2	193.1	3.5	4.1	202.9	64.5%
	金額		1,087	87,279	1	1,848	90,215	54.9%
しらうお	数量		1.3	59.0	8.0	2.7	71.0	22.6%
	金額		1,202	44,603	1	1,880	47,685	29.0%
え び	数量		0.2	9.0		0.1	9.3	2.9%
	金額		130	5,816		50	5,996	3.6%
ふ な	数量						0.0	
	金額						0	
どじょう	数量			4.5			4.5	1.4%
	金額			8,437			8,437	5.1%
こ い	数量			5.5		2.0	7.5	2.4%
	金額			3,023		1,200	4,223	2.6%
うなぎ	数量			4.5			4.5	1.4%
	金額			6,601			6,601	4.0%
あ ゆ	数量							
	金額							
アメリカナマズ	数量							
	金額							
その他	数量			15.0			15.0	4.8%
	金額			1,113			1,113	0.7%
合 計	数量		3.7	290.6	11.5	8.9	314.7	100.0%
	金額		2,419	156,872	1	4,978	164,270	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表18-2 平成26年 魚種別活魚・鮮魚販売実績

(単位:上段トン,下段千円)

支部名		土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比率 (%)
わかさぎ	数量		31.2	176.7	10.4	11.4	229.7	67.5%
	金額		8,458	93,189	5,222	5,792	112,661	45.2%
しらうお	数量		3.2	40.3	7.2	1.7	52.4	15.4%
	金額		1,255	57,065	6,282	2,111	66,713	26.8%
え び	数量	2.0	0.2	11.0	1.2		14.4	4.2%
	金額	1,400	135	7,676	520		9,731	3.9%
ふ な	数量						0.0	0.0%
	金額						0	0.0%
どじょう	数量			5.5			5.5	1.6%
	金額			10,000			10,000	4.0%
こ い	数量		0.5	4.0		2.0	6.5	1.9%
	金額		255	1,767		1,300	3,322	1.3%
うなぎ	数量		2.5	3.1			5.6	1.6%
	金額		12,500	16,250			28,750	11.5%
あ ゆ	数量						0.0	0.0%
	金額						0	0.0%
アメリカナマズ	数量		0.1				0.1	0.0%
	金額		-				-	-
その他	数量			26.0			26.0	7.6%
	金額			18,200			18,200	7.3%
合 計	数量	2.0	37.7	266.6	18.8	15.1	340.2	100.0%
	金額	1,400	22,603	204,147	12,024	9,203	249,377	100.0%

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

7 漁船と漁港・船溜り

(1) 漁船

霞ヶ浦北浦における平成26年12月31日現在の漁船登録隻数は、831隻であり、そのうち829隻（99.8%）が動力漁船となっている（表19）。

動力漁船のトン数階層別の構成をみると、0～1トン未満船が346隻（41.7%）、1～3トン未満船が452隻（54.5%）で、3トン未満船がほとんどである。

また、動力漁船の船質については、789隻（95.2%）がFRP船であり、残り38隻（4.6%）が木船、2隻が鋼船である。

表19 霞ヶ浦北浦のトン数階層別動力漁船隻数 （単位：隻）

トン数 \ 年	平22	平23	平24	平25	平26
1トン未満	484	481	442	402	346
1～3トン未満	582	570	547	503	452
3～5トン未満	35	34	32	31	31
合 計	1,101	1,085	1,021	936	829

（霞ヶ浦北浦水産事務所資料）

(2) 漁港・港湾・船溜

霞ヶ浦北浦には、第1種漁港が霞ヶ浦に10箇所、北浦に1箇所、合計11箇所ある。そのほか、港湾が2箇所と大小様々な船溜りが数多く存在している（表20）。

表20 漁港、港湾、船溜りの概要 （単位：箇所）

	漁港	港湾	船溜
霞ヶ浦	10	1	80
北 浦	1	1	70
合 計	11	2	150

（霞ヶ浦北浦水産事務所，（独）水資源機構資料）

8 水産業団体及び組合員

(1) 組合員

霞ヶ浦北浦地域における漁業協同組合の組合員は、平成25年度末現在で霞ヶ浦地区が846人、北浦地区が357人の1,203人となっている。(表21)。

漁業形態は小型機船底びき網、さし網、張網等の漁船漁業が中心となっている。また、業種別は小割式養殖漁協があり、組合員数は47人である。

これら漁業者の大多数は小規模経営で、多くは農業や他産業との兼業であり、全体的に高齢化が進むとともに漁業者数は年々減少しており、漁業経営の安定化、新規参入者の確保が今後の課題となっている。

また、水産加工業協同組合の組合員は平成25年度末で56人であり、一部の組合員は漁業との兼業経営を行っている。

(2) 水産業協同組合

① 概況

昭和24年の水産業協同組合法施行に伴い、霞ヶ浦に27、北浦に14の地区漁業協同組合（以下「地区漁協」という。）が設立された。その後漁協合併が進められ、平成25年度末における地区漁協は霞ヶ浦地区が2組合、北浦地区が2組合となっている。このうち、北浦地区では平成14年度に県内初の広域合併漁協としてきたうら広域漁協が設立され、霞ヶ浦地区でも平成20年度から合併の協議が進展し平成22年1月に14漁協が合併して霞ヶ浦漁業協同組合が誕生した。

この他に、業種別漁業協同組合（以下「業種別漁協」という。）が1組合、水産加工業協同組合（以下「水産加工協」という。）が1組合ある。業種別漁協はこれまで2組合が存在したが、そのうち真珠養殖漁業協同組合が平成21年1月に解散し、小割式養殖漁協のみとなった。また、水産加工協は平成17年8月1日に従来の5加工協が合併して1つになったものである。

なお、霞ヶ浦地区において地区漁協の指導的役割を果たしてきた霞ヶ浦漁業協同組合連合会は、平成22年7月22日付けの認可及び登記により霞ヶ浦漁協がその権利義務を包括承継することになった。

表21 水産業協同組合の推移（平成25年度末時）

		組 合 数					組 合 員 数 (人)				
		H21	H22	H23	H24	H25	H21	H22	H23	H24	H25
単 協	霞ヶ浦地区漁協	3	2	2	2	2	1,075	992	952	919	846
	北浦地区漁協	2	2	2	2	2	442	421	397	372	357
	業種別漁協	1	1	1	1	1	52	51	48	47	47
	水産加工協	1	1	1	1	1	61	56	59	57	56
	計	7	6	6	6	6	1,630	1,520	1,456	1,395	1,331
連 合 会		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

② 事業状況

当地区の各漁業協同組合は、一般的な海面のような産地市場が当地区には存在しないことから、通常は漁協事業の柱となる販売事業はほとんど行っておらず、漁業調整関係や資源管理関係などの指導事業を主に実施している。近年では、これまでの法令規制主導型の漁業制度から、自主規制を主体とした漁業者自身による「自主的な漁業管理体制」の構築のための中心的存在としての重要な役割を果たしている。

水産加工業協同組合は、霞北湖岸に所在する水産加工業者間の連絡・調整及び情報交換等を行うとともに、県内外のイベント等に参加・出店して展示即売会を行うなど霞北水産加工製品のPR並びに消費拡大に努めている。

③ 漁協合併

霞ヶ浦及び北浦地区においては、平成元年から1市町村1漁協を目標として、合併計画が進められてきたが、平成8年12月に全漁連が1県1漁協の方針を打ち出し、水産庁の主導のもと、本県においては、沿海、霞ヶ浦、北浦の各地区で漁協一本化を行うため、平成10年3月に「茨城県漁協経営強化基本方針」を、平成14年3月には「茨城県漁協組織・事業基盤強化基本方針」を策定した。

これらの基本方針を受けて、霞ヶ浦及び北浦地区では平成18年度を目標に両地区の漁連が主体となり、広域合併に向けた作業を進めた結果、北浦地区においては平成13年12月に北浦漁連と6漁協（麻生町大和、北浦村、銚田町、大洋、大野北浦、鹿島の各漁協）による合併が基本合意に至り、平成14年6月1日に「きたうら広域漁業協同組合」が設立された。

一方、霞ヶ浦地区においても、霞ヶ浦漁連傘下の15漁協が合併の協議を進めてきた結果、麻生漁協以外の14漁協が合併に合意し、平成21年9月の合併仮契約締結と各組合の総会議決の後、平成22年1月15日の県の認可及び22日の登記を経て「霞ヶ浦漁業協同組合」が設立された。

同漁協の合併に先だって麻生漁協が霞ヶ浦漁連を脱退し、会員が1つになったことで同漁連の権利義務を合併漁協が包括承継できる条件が整ったため、両者の総会決議を経て平成22年7月22日付けの認可及び登記により承継が成立した。

なお、平成23年から霞ヶ浦漁協ときたうら広域漁協の役員を中心に、これまでの考え方にとらわれず霞ヶ浦と北浦の枠を超えた合併の必要性を指摘する声があがり、平成24年2月に両漁協の役員が会合して第1回漁協合併勉強会が開催された。また、平成26年3月には霞ヶ浦北浦地区4漁協の役員が集まり2回目の合併勉強会を開催した。

今後も定期的に開催し、霞ヶ浦北浦地区全体の漁協合併実現を目指していくこととしている。

④ 加工協合併

昭和26～45年に霞ヶ浦北浦地区に5つの水産加工業協同組合が設立され、それらの組合が当初任意団体として組織した連合会が昭和58年に水産業協同組合法に基づく水産加工業協同組合連合会となり長らく活動してきたが、当該連合会が中心となり、平成15年6月から進めていた5加工協（土浦、かすみがうら市、霞ヶ浦、霞ヶ浦湖南、北浦加工協）の合併に向けた協議が合意に至り、平成17年8月1日付の認可により、「霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合」が設立された。この組合は、連合会の権利義務を承継した霞ヶ浦北浦地区唯一の加工組合となった。

(3) その他の団体

- ・ 霞ヶ浦北浦水産振興協議会

霞ヶ浦北浦沿岸市町村と漁協及び加工協を会員とし，地元水産業団体と市町村の連携を円滑にして，霞ヶ浦北浦の水産業の振興を図るため次の各種事業活動を行っている。

啓発指導事業……………霞ヶ浦北浦の水産資源の保護育成や水産物の消費拡大のため必要な事業に対する経費の一部助成など

教育広報事業……………機関誌「霞北水産だより」及び協議会ホームページ作成による水産に関する情報提供や，小学生などを主対象とした啓発資料作成など

9 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要

(1) 海区漁業調整委員会

海区漁業調整委員会は、漁業の民主化を図るため、漁業者を主体とした漁業調整機構として創設された。その権限及び機能は、漁業法や水産資源保護法、県漁業調整規則等に定められており、諮問機関、建議機関、決定機関等として広範な権限を有している。

霞ヶ浦北浦は漁業法に基づく海区指定を受け、昭和25年8月に霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会が設置された。委員は、漁業者が選挙により選ぶ公選委員6人と知事が選任する学識委員3人及び公益代表委員1人の計10人をもって構成され、任期は4年である。現在の委員は第20期に当たり、事務局は土浦市真鍋の県土浦合同庁舎内に置かれ、職員2名が配置されている。

平成26年度(第20期)の活動内容の主なものとして、第1種区画漁業(小割式養殖業)の免許にかかる答申、及び小型機船底びき網漁業のうち手繰1種漁業(地方名称:いさざ・ごろひき網漁業)の許可に関する取扱いを決定した。

表22 漁業調整委員会の開催状況

	22	23	24	25	26年度
委員会	6	6	9	10	10
公聴会	—	—	1	1	—
協議会	2	1	1	1	—
計	8	7	11	12	10

なお、落とし網漁業を委員会承認漁業とし、有効期間を平成31年8月31日とする委員会指示を平成26年6月30日に行った。

表23 委員会指示の概要

承認漁業	承認面数(面)	承認者数(名)	有効期間
落とし網	144	25	平成26年9月1日から平成31年8月31日まで

(2) 茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会

漁業と遊漁及び海洋性レクリエーションとの円滑な海面利用の調整を図るため、平成6年度に漁場利用審議会を発展的に改組し、新たに海面利用協議会を設置した。

本協議会には、海區別に部会が設置され、霞ヶ浦北浦海区には、霞ヶ浦北浦海区部会が設置されている。本部会は知事から委嘱された7人の委員(漁業関係委員2人、遊漁関係委員2人、海洋性レクリエーション関係委員1人、学識経験委員2人)で構成されている。現在の委員は第11期に当たり、任期は2年である。平成26年度の霞ヶ浦北浦海区部会は平成26年12月に開催し、霞ヶ浦北浦における漁業と遊漁の現状などについて協議を行った。

第11期霞ヶ浦北浦海区部会 (任期:平成26年12月1日～平成28年11月30日)

平成27年3月現在

区分	氏名	備考
学識経験	坂本 俊彦	部会長
学識経験	根本 一良	部会長代理
海洋性レク	加固 久雄	
遊漁関係	荒井 淳一	
漁業関係	長峯 正俊	
漁業関係	武藤 彰男	
遊漁関係	吉田 幸二	

10 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体

(1) 県の機関

- ① 茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所（22名，うち水産業普及指導員 1名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7266

FAX 029-822-0848

所 長	庶務課	（3名）	TEL 029-822-7266
	漁業調整課	（5名）	TEL 029-822-7269
	振興課	（4名）	TEL 029-822-7270 （うち水産業普及指導員：1名）
	指導課	（3名）	TEL 029-822-7285
	霞ヶ浦支所	（6名）	TEL 0299-55-0085 FAX 0299-55-3501

- ② 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会（委員 10名）・・・・・・事務局（2名）

茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会（委員 7名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7287

FAX 029-822-0848

第20期霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員（任期：平成24年8月15日～平成28年8月14日）

平成27年3月現在

区 分	氏 名	所 属
会 長 公 選 委 員	木 川 宗 次	きたうら広域漁協 代表監事
会 長 代 理 公 選 委 員	鈴 木 幸 雄	漁業（霞ヶ浦漁協）
公 益 委 員	鈴 木 周 也	行方市長
公 選 委 員	大 崎 匠	漁業（霞ヶ浦漁協）
学 識 経 験 委 員	川 前 政 幸	元茨城県水産試験場長
公 選 委 員	樽 見 軍 司	漁業（霞ヶ浦漁協）
学 識 経 験 委 員	海 老 澤 武 美	きたうら広域漁協 代表理事組合長
学 識 経 験 委 員	薄 井 征 記	霞ヶ浦漁協 代表理事組合長
公 選 委 員	戸 島 武 男	きたうら広域漁協 副組合長理事
公 選 委 員	栗 又 勝	漁業（霞ヶ浦漁協監事）

(2) 住所録

平成27年10月1日現在

団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X
【霞ヶ浦地区 漁業協同組合】		
霞ヶ浦	311-3512 行方市玉造甲 1560-6	0299-55-0057 0299-55-0881
麻 生	311-3832 行方市麻生 163-1	0299-72-0416 (FAX 兼用)
【北浦地区 漁業協同組合】		
きたうら広域	311-3823 行方市白浜 1570	0299-73-3037 0299-73-3280
潮 来	311-2406 潮来市新宮 1942	0299-66-2711 (FAX 兼用)
常 陸 川	314-0114 神栖市日川 3744	0299-96-0903 (FAX 兼用)
【業種別 漁業協同組合】		
霞ヶ浦北浦 小割式養殖	311-3513 行方市手賀 786-3	0299-55-0289 0299-55-0244
【水産加工業協同組合】		
霞ヶ浦北浦	300-0134 かすみがうら市深谷 2964-7 かすみがうら市商工会 霞ヶ浦支所	029-897-0055 029-897-0956
【霞ヶ浦北浦関係市町村】		
土 浦 市	300-8686 土浦市大和町 9-1	029-826-1111 029-823-9220
石 岡 市	315-0195 石岡市柿岡 5680-1 (八郷総合支所)	0299-43-1111 0299-43-6384
鹿 嶋 市	314-8655 鹿嶋市大字平井 1187-1	0299-82-2911 0299-84-1213
潮 来 市	311-2493 潮来市辻 626	0299-63-1111 0299-63-3591
稲 敷 市	300-0792 稲敷市結佐 1545 (東庁舎)	0299-78-3385 0299-78-3398
かすみがうら市	300-0192 かすみがうら市大和田 562 (霞ヶ浦庁舎)	029-897-1111 029-897-1243
小 美 玉 市	311-0192 小美玉市堅倉 835	0299-48-1111 0299-48-1199
鉾 田 市	311-1592 鉾田市鉾田 1444-1	0291-33-2111 0291-32-2128
神 栖 市	314-0408 神栖市波崎 6530 (波崎総合支所)	0479-44-1111 0479-44-6615

団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X
行 方 市	311-1792 行方市山田 2564-10 (北浦庁舎)	0291-35-2111 0291-35-3258
美 浦 村	300-0492 稲敷郡美浦村受領 1515	029-885-0340 029-885-1120
阿 見 町	300-0392 稲敷郡阿見町中央 1-1-1	029-888-1111 029-887-9560
【水産関連団体・漁業協同組合連合会】		
霞ヶ浦北浦 水産振興協議会	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎 霞ヶ浦北浦水産事務所内	029-822-7285 029-822-0848
茨城県沿海地区 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-224-5151 029-224-0070
茨城県信用 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-6281 029-226-4307
茨城県水産加工業 協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186
茨城県 水産物開発普及協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186
全国合同 漁業共済組合 茨城県事務所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-1036 029-222-1031
全国共済水産業 協同組合連合会 茨城支店	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-2036 029-231-7668
茨城県漁船保険組合	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-8526 029-231-9365
茨城県 漁業信用基金協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-0717 029-231-0342
【茨城県】		
漁 政 課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4070 029-301-4089
水産振興課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4114 029-301-4129
霞ヶ浦北浦 水産事務所	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26	029-822-7266 029-822-0848
霞ヶ浦支所	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0085 0299-55-3501
水産試験場	311-1203 ひたちなか市平磯町三ツ塚 3551-8	029-262-4158 029-263-2058
内水面支場	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0324 0299-55-1787

団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X
【国等関係機関】		
農林水産省関東農政局 茨城支局	310-0061 水戸市北見町 1-11	029-221-2184 029-227-1535
国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	311-2424 潮来市潮来 3510	0299-63-2411 0299-62-4652
土浦出張所	300-0822 土浦市蓮河原町 4497	029-821-2155 029-822-8510
麻生出張所	300-3832 行方市麻生 1570-1	0299-72-1428 0299-72-0088
潮来出張所	311-2424 潮来市潮来 6124-6	0299-62-2176 0299-63-0818
鉾田出張所	311-1517 鉾田市鉾田 1066	0291-32-3381 0291-33-5567
波崎出張所	314-0254 神栖市太田 3109	0479-46-0101 0479-46-3109
(独)水資源機構 利根川下流総合管理所	300-0732 稲敷市上之島 3112	0299-79-3311 0299-79-3316
玉造管理所	311-3512 行方市玉造甲 1234	0299-55-4331 0299-55-4310

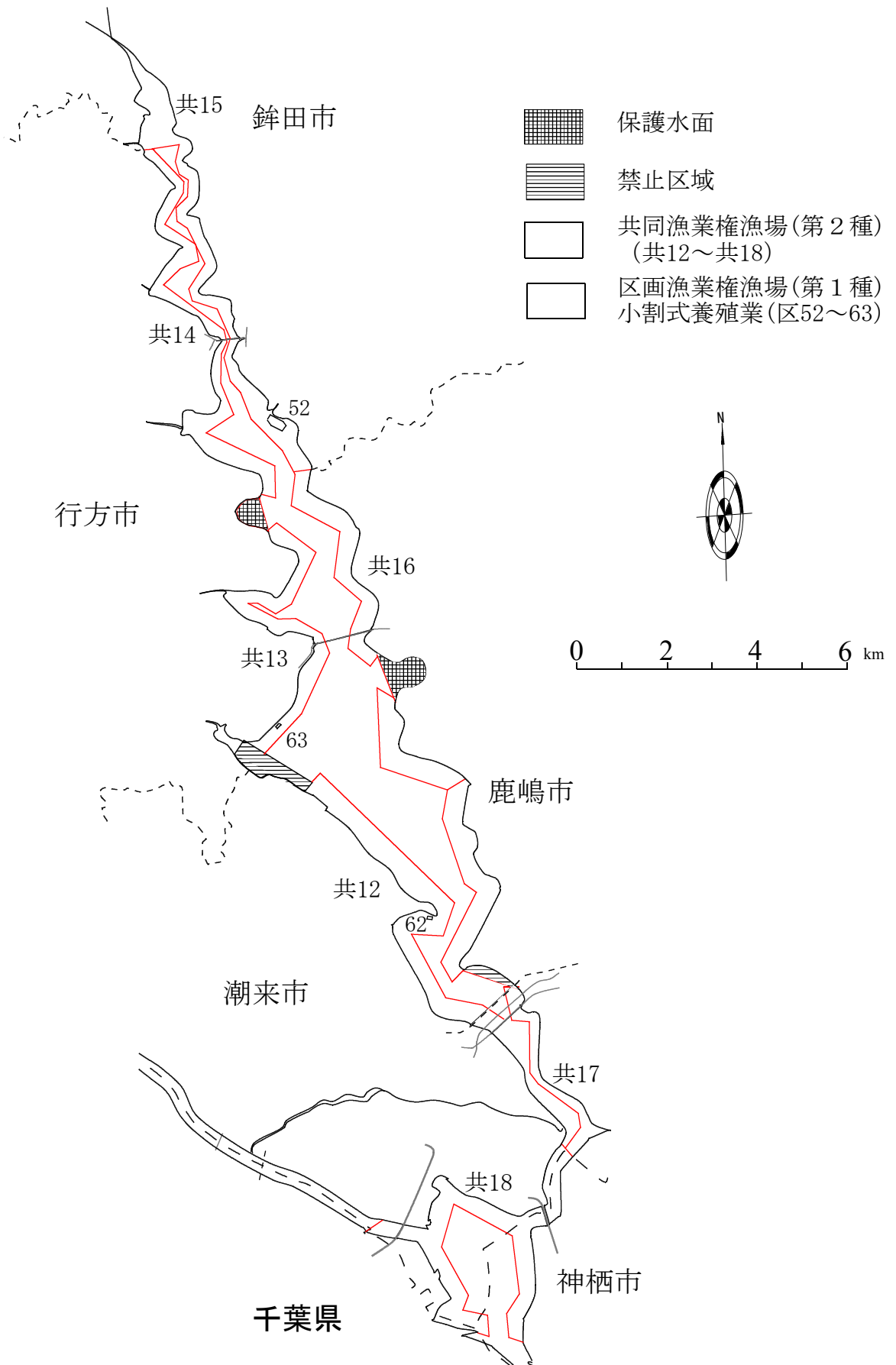
霞ヶ浦北浦海区の漁場図(霞ヶ浦)

(平成27年10月1日現在)



霞ヶ浦北浦海区の漁場図(北浦)

(平成27年10月1日現在)



霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移

魚種別									漁業種類別								
単位:トン									単位:トン								
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ類	コイ	フナ	シジミ	イサザアミ	底びき網			掛網	張網	採貝		
										トロール	横ひき	帆ひき					
29	7,187	1,514	321	411	203	200	471		1,400	29	7,187		1,691	1,325	240	709	324
30	6,162	1,383	441	582	490	156	429		1,549	30	6,162		1,889	1,539	152	646	155
31	6,627	1,185	364	501	459	125	481		2,013	31	6,627		2,249	1,164	136	755	144
32	6,787	901	297	520	435	75	462		3,201	32	6,787		3,542	971	140	659	270
33	7,275	1,286	507	566	356	54	369	860	2,327	33	7,275		2,574	1,439	108	749	1,123
34	8,513	1,036	277	487	210	130	485	2,585	2,371	34	8,513		2,547	998	193	834	2,743
35	7,417	894	486	846	269	97	467	1,207	2,086	35	7,417		2,366	1,112	130	1,039	1,493
36	8,776	556	573	1,129	1,050	116	627	1,475	2,122	36	8,776		2,504	1,315	219	1,553	1,719
37	8,214	951	455	578	1,042	142	806	1,284	1,589	37	8,214		1,836	1,259	236	1,511	1,777
38	10,946	1,809	433	793	579	169	787	3,095	698	38	10,946		931	1,564	268	1,771	4,939
39	6,906	1,570	313	755	331	200	690	799	1,214	39	6,906		1,305	1,257	328	1,378	1,241
40	10,648	2,595	228	719	311	272	960	1,920	1,064	40	10,648		1,328	1,861	562	1,747	3,640
41	11,560	2,420	416	1,065	602	260	847	2,918	1,623	41	11,560		1,840	2,214	854	1,747	3,333
42	13,596	1,395	217	1,966	1,485	349	1,272	3,056	966	42	13,596		1,129	1,391	1,866	3,917	3,695
43	14,252	665	199	3,207	1,551	530	1,390	2,096	2,968	43	14,252	1,852	2,267	90	1,049	4,480	2,499
44	13,661	405	144	4,020	1,914	486	1,261	2,041	1,658	44	13,661	1,603	1,786	19	914	5,244	2,435
45	15,514	772	342	2,964	2,348	682	1,512	3,517	1,843	45	15,514	2,928	1,306	25	1,090	4,100	3,848
46	15,599	425	175	3,042	4,011	869	1,587	2,732	879	46	15,599	2,102	1,000	19	1,154	5,463	3,558
47	13,376	606	200	2,155	3,911	785	1,628	1,728	1,400	47	13,376	3,076	1,068	25	762	4,495	1,984
48	13,395	238	160	3,688	3,383	1,067	1,484	1,818	866	48	13,395	2,300	1,513	35	1,007	5,048	1,966
49	13,726	923	157	1,571	3,636	1,200	1,332	2,271	1,735	49	13,726	1,504	2,793	13	1,224	4,676	1,244
50	16,954	570	92	3,897	4,972	1,718	1,488	1,233	1,817	50	16,954	2,827	3,379	15	1,834	6,500	1,265
51	15,650	570	69	2,309	3,250	1,723	1,842	1,170	3,515	51	15,650	1,776	4,844	41	1,538	4,995	1,240
52	15,068	1,121	78	2,347	4,120	1,194	1,198	1,046	1,710	52	15,068	1,321	4,153	179	1,857	5,075	994
53	17,487	358	30	4,734	4,764	1,250	1,127	1,796	1,631	53	17,487	3,297	3,674	105	1,856	5,668	1,558
54	13,778	829	24	2,479	4,119	1,422	1,340	749	1,522	54	13,778	1,860	3,127	402	1,383	4,962	668
55	12,805	399	40	2,619	3,656	1,643	1,129	491	1,833	55	12,805	758	4,556	106	1,438	4,426	396
56	12,080	211	53	2,946	3,285	1,221	884	295	1,899	56	12,080	534	5,153	44	1,460	3,726	327
57	12,238	418	97	3,021	3,577	1,128	710	510	1,809	57	12,238	692	5,362	146	1,287	3,605	578
58	11,069	695	152	1,644	3,011	744	639	315	2,037	58	11,069	900	4,573	29	1,838	2,640	324
59	7,367	1,570	315	1,010	2,102	675	579	157	333	59	7,367	2,617	1,082	6	706	2,404	197
60	10,244	1,091	192	2,012	3,094	804	578	106	1,739	60	10,244	2,600	3,541		729	2,909	107
61	8,224	1,216	213	1,386	2,318	773	576	104	697	61	8,224	1,803	2,263		1,018	2,681	128
62	8,525	473	88	2,697	2,245	747	434	19	1,015	62	8,525	1,940	3,191		1,100	1,940	23
63	7,520	323	81	1,513	2,315	693	403	60	1,250	63	7,520	1,339	2,851		1,151	1,865	67
元	6,859	457	80	1,394	2,855	535	278	4	825	元	6,859	2,088	2,104		591	1,860	4
2	5,405	463	110	1,401	1,924	452	240	0	612	2	5,405	1,963	1,643		392	1,248	0
3	5,821	530	184	929	2,242	490	223		1,036	3	5,821	2,255	1,999		425	989	
4	5,109	400	209	1,330	1,981	462	156		387	4	5,109	2,644	1,228		405	711	
5	5,214	420	178	978	1,886	492	152		974	5	5,214	1,817	2,196		400	683	
6	4,576	289	200	950	2,111	489	119		242	6	4,576	1,516	1,456		364	1,062	
7	4,422	237	244	714	2,003	496	126		416	7	4,422	1,695	1,408		375	895	
8	4,109	259	294	832	1,527	427	121		348	8	4,109	1,722	1,102		390	826	
9	4,263	352	345	594	1,636	306	133		534	9	4,263	1,925	1,275		441	562	
10	2,998	160	134	411	1,201	284	86		367	10	2,998	1,072	986		416	466	
11	2,969	70	119	315	1,404	253	72		210	11	2,969	1,206	826		370	521	
12	2,416	51	95	244	1,097	230	110		280	12	2,416	884	772		328	393	
13	2,063	65	268	140	724	241	109		114	13	2,063	869	365		446	290	
14	1,747	55	81	133	521	251	122		210	14	1,747	579	371		428	338	
15	1,422	106	130	120	331	116	90		168	15	1,422	512	303		289	295	
16	1,794	71	103	426	679	54	48		229	16	1,794	951	429		105	278	
17	2,061	186	79	371	518	119	66		184	17	2,061	703	444		232	267	
18	1,740	123	127	104	551	69	45		73	18	1,740	872	171		383	293	
19	2,591	227	165	152	603	66	49	※1		19	2,591	※2	1,650		584	335	
20	2,068	134	190	76	491	62	40			20	2,068		1,232		497	286	
21	2,238	456	179	94	322	47	40			21	2,238		1,393		462	347	
22	2,218	520	83	55	497	29	35			22	2,218		1,293		547	355	
23	1,874	410	124	32	515	26	28			23	1,874		1,210		356	299	
24	646	227	116	9	276	0	3			24	646		631		8	5	
25	939	231	139	8	269	5				25	939		915		2	23	

※1 平成19年からイサザアミはその他

※2 平成19年からトロール、横ひき、帆ひきは底びき網

(茨城農林水産統計年報)